

令和4年8月19日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

付議案件

資料②

番号	件名	主管課	
2	令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について	義務教育課	p 1

令和 4 年度

全国学力・学習状況調査結果について



令和 4 年 8 月

山口県教育庁義務教育課

目 次

1 教科に関する結果	P 1
(1) 全体の結果	P 1
(2) 各教科の結果	P 1
(3) 具体的な問題と解答状況	P 11
2 質問紙調査の結果	P 23
(1) 児童生徒質問紙	P 23
(2) 学校質問紙	P 34
3 学力向上に向けた今後の取組	P 44

《令和4年度全国学力・学習状況調査の概要》

- 目 的
- ・義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 調査期日 令和4年4月19日（火）
- 調査方式 悉皆調査
- 実施学校数・児童生徒数（山口県）
- | | | |
|---------|----------------------|---------|
| 【小学校6年】 | 公立小学校 261校、特別支援学校 2校 | 10,600人 |
| 【中学校3年】 | 公立中学校 137校、中等教育学校 1校 | |
| | 特別支援学校 3校 | 9,977人 |
- 調査内容
- ①教科に関する調査
(小学校 国語、算数、理科 中学校 国語、数学、理科)
・調査問題では、下記1)と2)を一体的に問う。
- 1) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - 2) 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
- ・児童生徒に対する調査（児童生徒質問紙）
 - ・学校に対する調査（学校質問紙）

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果について

1 教科に関する結果

(1) 全体の結果

- 小学校では、国語は全国平均を下回り、算数は全国平均と同程度、理科は全国平均を上回るという結果であった。
- 中学校では、国語、数学は全国平均を上回り、理科は全国平均と同程度という結果であった。

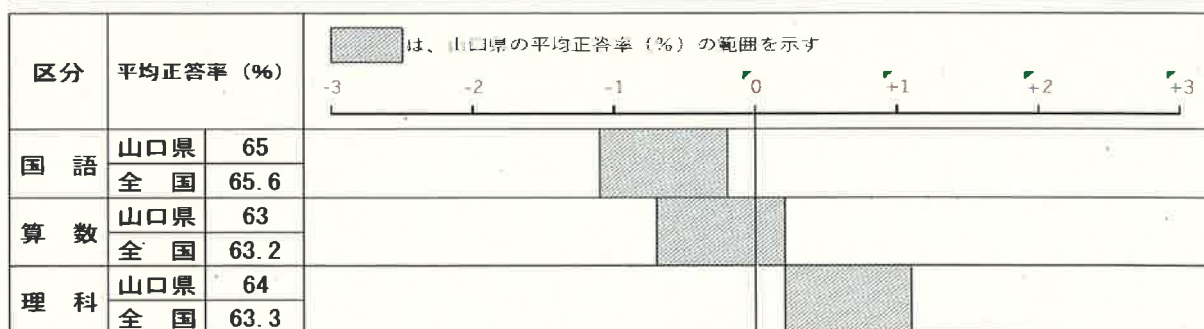
(2) 各教科の結果

①全国と本県の平均正答数、平均正答率の比較

※ 平成29年度から、都道府県等における各教科の平均正答率は整数値で提供されているため、全国平均との差を範囲で示している。

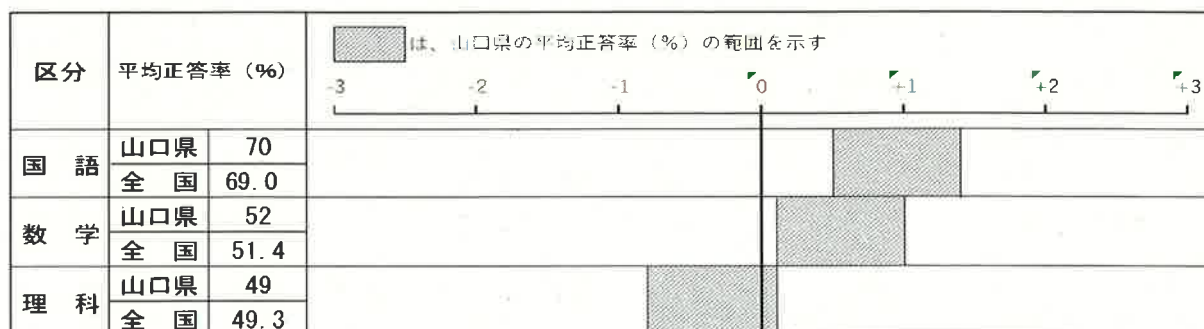
【小学校】

	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	9.1/14	9.2/14	65	65.6
算 数	10.0/16	10.1/16	63	63.2
理 科	10.9/17	10.8/17	64	63.3



【中学校】

	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	9.8/14	9.7/14	70	69.0
数 学	7.2/14	7.2/14	52	51.4
理 科	10.4/21	10.4/21	49	49.3



〔参考〕過去の調査での平均正答数と平均正答率

○令和3年度

小学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	9.0/14	9.1/14	64	64.7
算 数	11.1/16	11.2/16	69	70.2

中学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	9.1/14	9.0/14	65	64.6
数 学	9.2/16	9.1/16	58	57.2

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休業等の影響により中止

○平成31年度

小学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語	9.5/14	8.9/14	68	63.8
算数	9.4/14	9.3/14	67	66.6

中学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語	7.4/10	7.3/10	74	72.8
数学	9.8/16	9.6/16	61	59.8
英語	11.6/21	11.8/21	55	56.0

○平成30年度

小学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	8.6/12	8.5/12	72	70.7
国語B	4.6/ 8	4.4/ 8	57	54.7
算数A	8.9/14	8.9/14	64	63.5
算数B	5.2/10	5.1/10	52	51.5
理 科	9.9/16	9.6/16	62	60.3

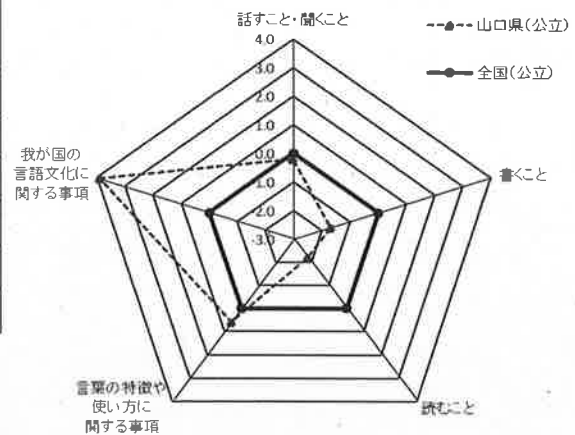
中学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	24.6/32	24.3/32	77	76.1
国語B	5.5/ 9	5.5/ 9	61	61.2
数学A	24.2/36	23.8/36	67	66.1
数学B	6.5/14	6.6/14	46	46.9
理 科	18.0/27	17.9/27	67	66.1

②領域別平均正答率

【小学校 国語】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国平均をやや上回り、「我が国の言語文化に関する事項」については、全国平均を上回っている。「話すこと・聞くこと」については、全国平均をやや下回り、「書くこと」「読むこと」については、全国平均を下回っている。

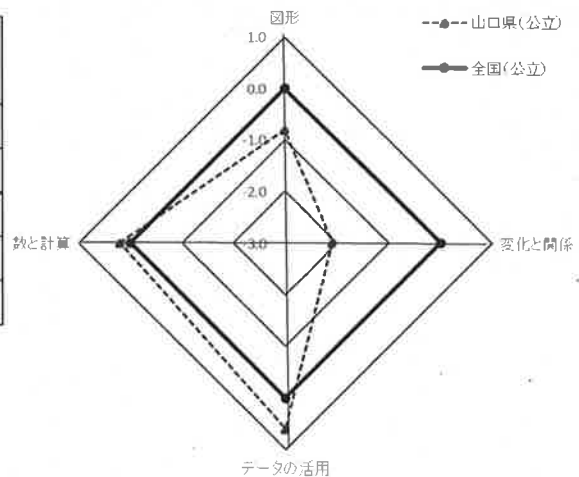
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	14			
話すこと・聞くこと	2	66.0	66.2	-0.2
書くこと	2	46.8	48.5	-1.7
読むこと	4	64.4	66.6	-2.2
言葉の特徴や使い方に関する事項	5	69.6	69.0	+0.6
情報の扱い方に関する事項	0			
我が国の言語文化に関する事項	1	81.8	77.9	+3.9



【小学校 算数】

「数と計算」「データの活用」については全国平均をやや上回っている。「図形」「変化と関係」については、全国平均を下回っている。

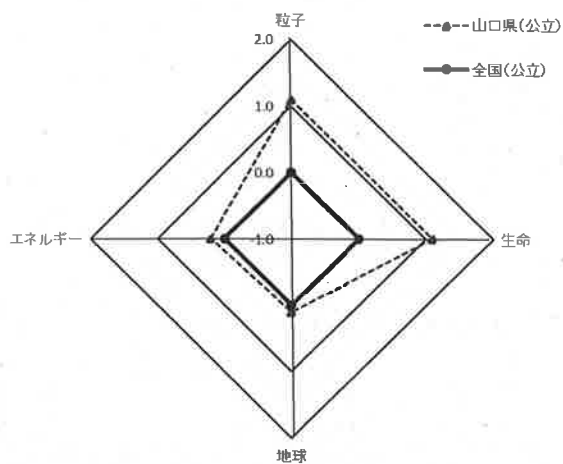
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	16			
数と計算	6	70.0	69.8	+0.2
図形	4	63.2	64.0	-0.8
測定	0			
変化と関係	4	49.2	51.3	-2.1
データの活用	3	69.3	68.7	+0.6



【小学校 理科】

『エネルギー』を柱とする領域』『地球』を柱とする領域』については全国平均をやや上回り、『粒子』を柱とする領域』『生命』を柱とする領域』については、全国平均を上回っている。

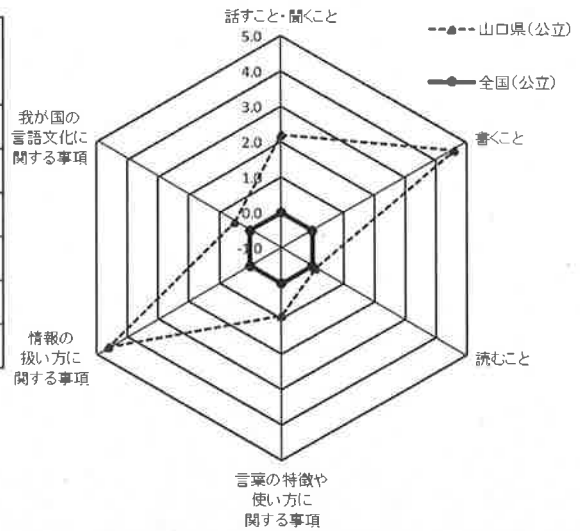
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	17			
「エネルギー」を柱とする領域	4	51.8	51.6	+0.2
「粒子」を柱とする領域	5	61.5	60.4	+1.1
「生命」を柱とする領域	5	76.1	75.0	+1.1
「地球」を柱とする領域	5	64.7	64.6	+0.1



【中学校 国語】

「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」及び「我が国の言語文化に関する事項」については、全国平均をやや上回っている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」と及び「情報の扱い方に関する事項」については、全国平均を上回っている。

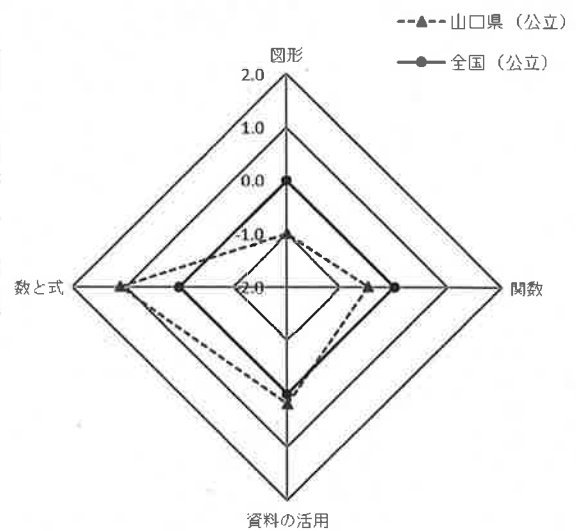
全体	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
話すこと・聞くこと	3	66.1	63.9	+2.2
書くこと	1	51.1	46.5	+4.6
読むこと	2	68.0	67.9	+0.1
言葉の特徴や使い方に関する事項	6	73.1	72.2	+0.9
情報の扱い方に関する事項	1	51.1	46.5	+4.6
我が国の言語文化に関する事項	3	70.7	70.2	+0.5



【中学校 数学】

「数と式」「データの活用」については、全国平均をやや上回り、「図形」「関数」については、全国平均をやや下回っている。

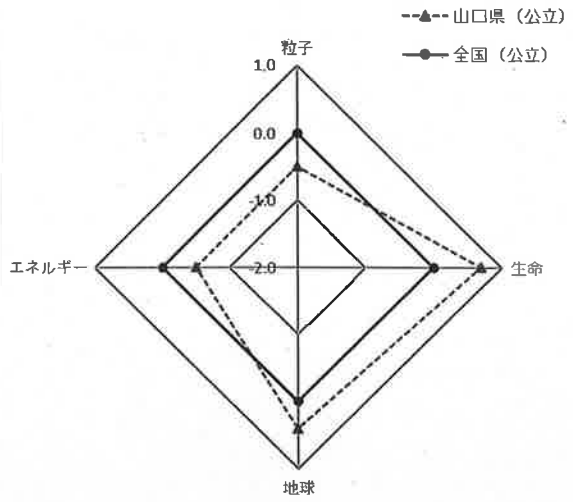
全体	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
数と式	5	58.5	57.4	+1.1
図形	3	42.6	43.6	-1.0
関数	3	43.1	43.6	-0.5
データの活用	3	57.3	57.1	+0.2



【中学校 理科】

「『生命』を柱とする領域」「『地球』を柱とする領域」については、全国平均をやや上回っている。「『エネルギー』を柱とする領域」「『粒子』を柱とする領域」については、全国平均をやや下回っている。

全体	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
「エネルギー」を柱とする領域	6	41.4	41.9	-0.5
「粒子」を柱とする領域	5	50.4	50.9	-0.5
「生命」を柱とする領域	5	58.6	57.9	+0.7
「地球」を柱とする領域	6	44.7	44.3	+0.4



③正答数分布

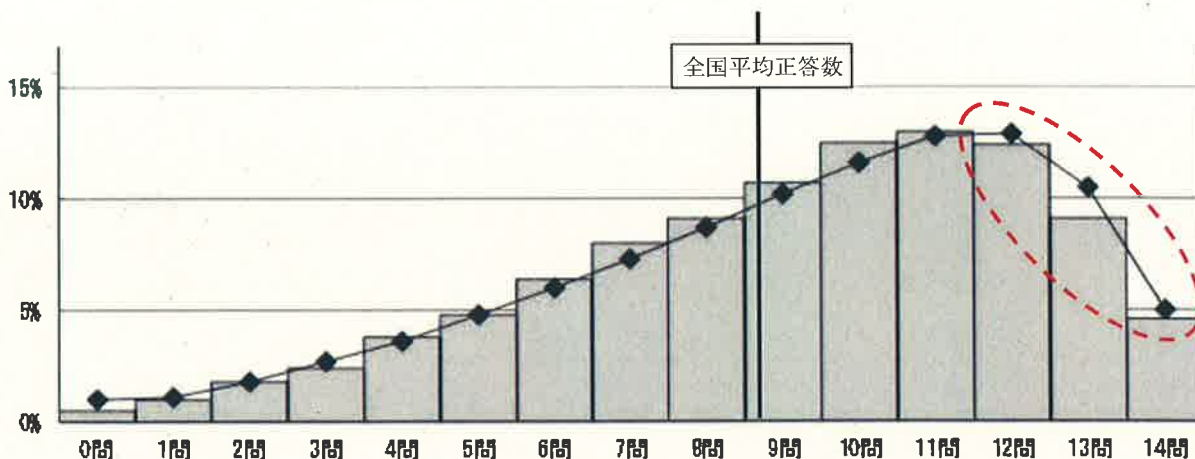
[グラフについて]

横軸は児童生徒が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの児童生徒の割合(%)を示している。



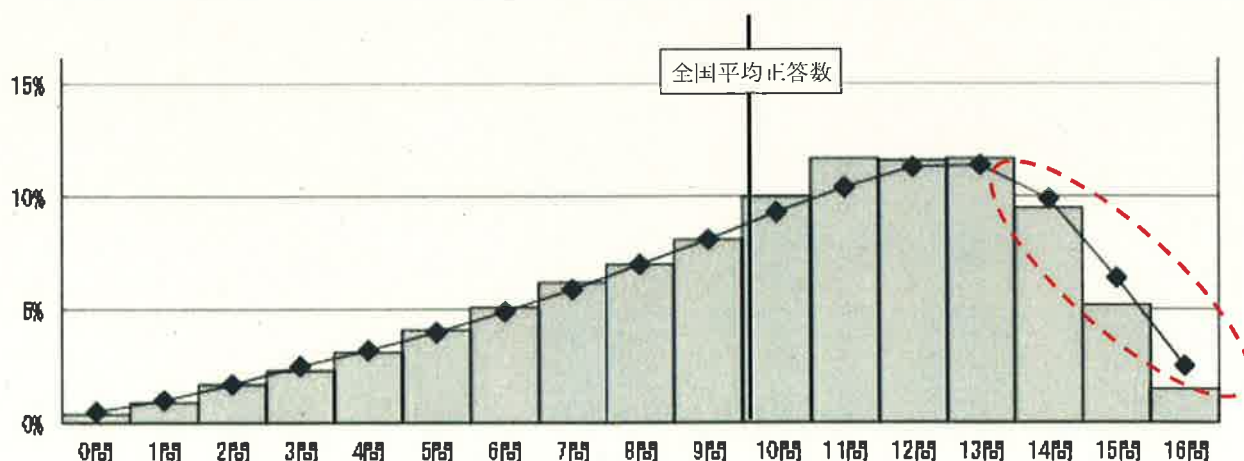
【小学校 国語】(平均正答率 山口県 65%、全国 65.6%)

全国平均正答率を下回り、全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い児童の割合がやや低い。



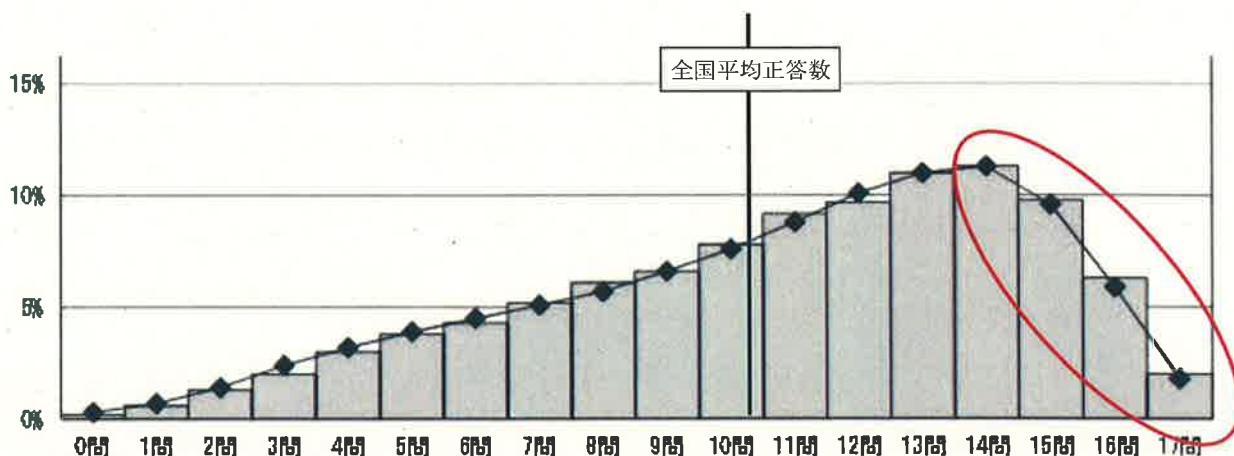
【小学校 算数】(平均正答率 山口県 63%、全国 63.2%)

全国平均正答率と同程度であり、全国と同様の分布状況にある。全国と比べ、正答数の多い児童の割合がやや低く、平均正答数付近の児童の割合がやや高い。



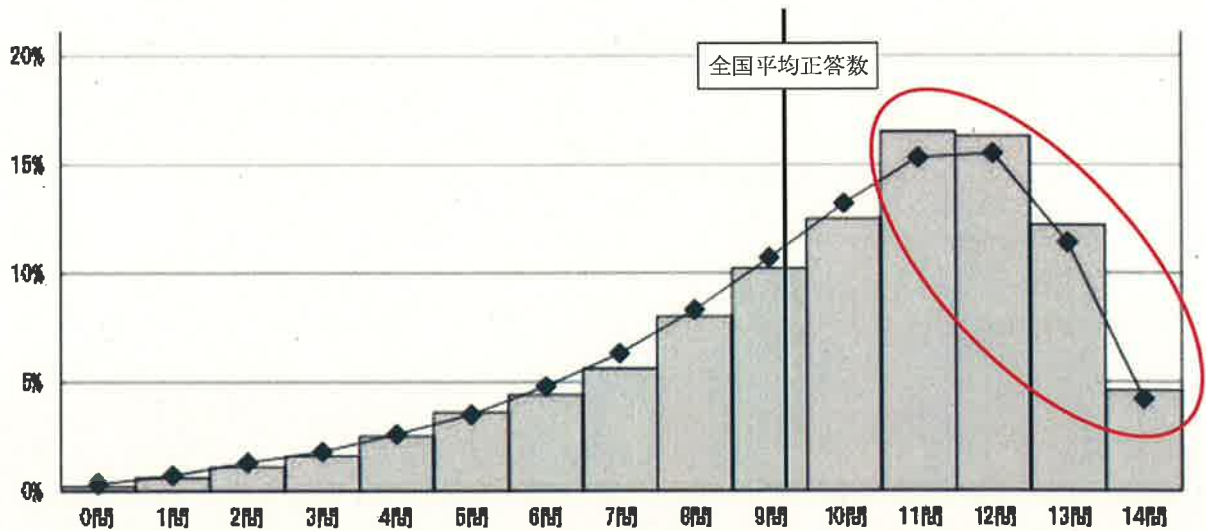
【小学校 理科】（平均正答率 山口県 64%、全国 63.3%）

全国平均正答率を上回り、全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い児童の割合がやや高い。



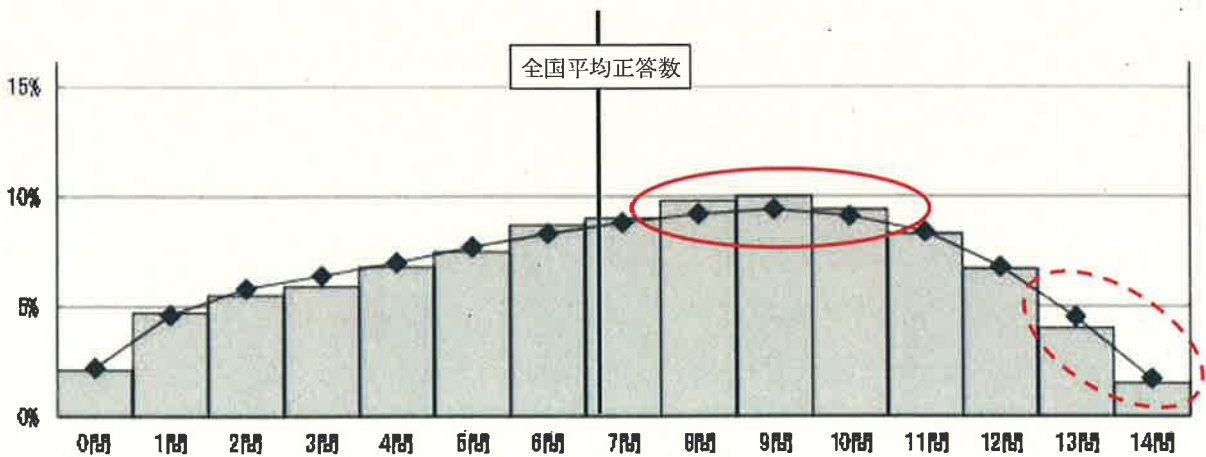
【中学校 国語】（平均正答率 山口県 70%、全国 69.0%）

全国平均正答率を上回り、全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや高い。



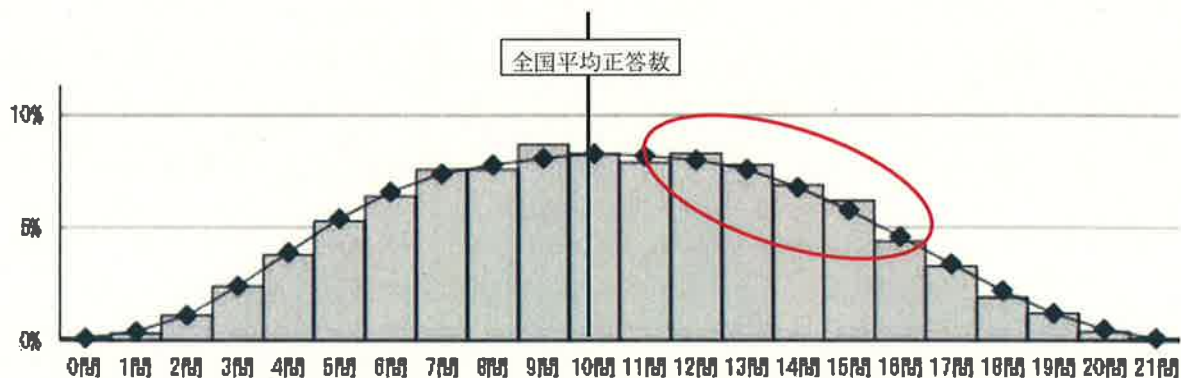
【中学校 数学】（平均正答率 山口県 52%、全国 51.4%）

全国平均正答率を上回っており、全国と同様の分布状況にある。全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや低いが、平均正答数付近の生徒の割合がやや高い。



【中学校 理科】（平均正答率 山口県 49%、全国 49.3%）

全国平均正答率と同程度であり、全国と同様の分布状況にあるが、全国平均正答数付近の生徒については、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや高い。



(3) -① 具体的な問題と解答状況 一小学校国語一
○相当数の児童ができている点

○ 「話し言葉と書き言葉との違いを理解すること」について、正答率が高い。

1

1 「話し合いの様子の一部」

岡さん 岡さんの手紙では、地域のためにできることについて話し合っことになりました。岡さんのグループでは、学校の近くにある公園をきれいにするこについて話し合っています。次は、そのときの「話し合いの様子の一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

「話し合いの様子の一部」

岡さん 学校の近くの公園は、広くて遊具があり、一年主のころから遊んでいる場所です。私は、今まで使ってきた公園を自分たちできれいにすることで、もっとたくさんの人に気持ちよく使ってもらえるようにしたいです。私自身、どうすればよいか考えているところですが、みなさんはどんなアイデアがありますか。

谷原さん 私は、公園に行くとき、おかしなふくろやペットボトルがいつも落ちてることがあります。そこで、ごみを拾うきかがあると思います。「アキカイ」というのは、ロボットのことでなく、活動する時間のことです。

山下さん 公園のごみを拾うことは、すぐにできるのでよいと思います。でも、捨てることは難しい気がします。私は、この公園には花が少ないので、許可をもらって、もっとたくさん花を植えれば、はなやかな感じになると思います。

谷原さん イーサーに、山下さんのさうどおり、花を植えることは私たちにもできるし、はなやかになり、よいと思います。ただ、こまめに公園へ行って花の水やりなどの世話を続けることも難しそうですね。

山下さん その点については、もう少し考えていきたいと思っています。

前田さん 私は、公園の遊具のベンキをぬり直すかと思っています。

中村さん ウ どうして、公園の遊具のベンキをぬり直す必要があるのですか。

前田さん 公園のすべり台やジャングルジムは、できから時間がたつていて、どれも暗い感じがします。そこで、自分たちだけでできるかどうかは私になりませんが、明るい感じにするために黄色や赤色のペンキで、せひぬり直したいと思っています。

中村さん なるほど、いいアイデアですね。ベンキをぬり直して明るくすると、公園がきれいになるということですね。

岡さん こうして、みなさんの話を聞いてみると、どれも公園をきれいにするためのアイデアですね。

中村さん 今までの話し合いで出たアイデアについて、よい点と問題点に分けて（メモ）をしてみました。

私 は、公園が明るくなるので、ベンキをぬり直すことがよいと考えました。できるかどうかは分からないという問題点については、公園を管理している人や家の人に相談するとよいと思います。

岡さん みなさんのアイデアや（メモ）から、取り組みやすいという理由で、私は、

（話し合いが続く）

アイデア	○よい点	△問題点
ごみ拾い	○ごみがなくなる	△捨てるのがむずかしい
花植え	△はなやかなる	○世話を続けることがむずかしい
ベンキぬり	○明るくなる	△できるかどうかは分からない

- 1 意味を説明することで、同じ音でも複数の漢字があることを知ってもらうため。
 - 2 意味を説明することで、同じ音で異なる意味をもつ言葉と区別するため。
 - 3 くり返し伝えることで、相手の考えを引き出すため。
 - 4 くり返し伝えることで、言葉のリズムをよくするため。
- 一「話し合いの様子の一部」で、谷原さんが、――部Aのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【正答】 1 - 2

	正答率
山口県	85.6%
全国	85.5%

●課題のみられる点

● 「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること」について、課題が見られる。

3 二

【伝え合いの様子の一部】

鳥谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。
川口さん 伝わってきたよ、それは。上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことをもとにしているからだね。
鳥谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。
川口さん 最後の段落がいいね。なぜかというところ、最後の段落の内容をより具体的に書いているから、今年ががんばろうとしていることがよく伝わってきたよ。
鳥谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を伝えるね。
（伝え合いが続く）

二 鳥谷さんは、川口さんと【文章2】を読み合い、感想を伝え合いました。次の【伝え合いの様子の一部】をよく読み、あとの問いに答えましょう。



【文章1】

わたしは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた。みんなにそうし用具の正しい使い方を教えてほしいという思いをもち、正しく使うことができる学校の様子をろうがして、各学級にしようかという活動がすばらしいと思いました。

この話を聞き、五年生の時にさ、ばい委員会では自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたむことができるように、ルールや道具をくふうした。おに遊びやボールゲームを各学級にしようかしたいです。

【文章2】

わたしがこの一年間でがんばったことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた。活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうし用具の正しい使い方を教えてほしいという思いをもち、正しく使うことができる学校の様子をアロクがして、各学級にしようかという活動です。

この話を聞き、五年生の時にさ、ばい委員会では自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたむことができるように、ルールや道具をくふうした。おに遊びやボールゲームを各学級にしようかしたいです。

3 鳥谷さんの学級では、「六年生としてがんばりたいこと」を書くことにしました。次は、鳥谷さんが最初に書いた【文章1】と書き直した【文章2】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【正答例】 3 二

わたしの文章のよさは、今年ががんばりたいことを伝えるために、南さんの話や、さいばい委員の活動で反省したことを書いたり、運動委員として進めたい新たな活動を、最後のだん落に具体的に書いたりしたところです。(99字)

	正答率
山口県	35.8%
全国	37.7%

(問い) 鳥谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが鳥谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせ、書きましょう。

(条件)

- 【文章2】のよさを書くこと。
- 【文章2】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

※左の縦横罫は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※の印から書きましょう。どちらの行を定めないで、続けて書きましょう。

(3) -② 具体的な問題と解答状況 一小学校算数一

○相当数の児童ができている点

○ 「被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすること」について、正答率が高い。

- 1 (1) カップケーキが、下のように売られています。1箱14個入りで1050円のAセットと、1箱21個入りで1470円のBセットがあります。



【正答】 1 (1) 4200

	正答率
山口県	92.2%
全 国	92.4%

- (1) ゆうどさんは、Aセットを4箱買うことにしました。
Aセット4箱分の代金を求める式は、 1050×4 です。
 1050×4 を計算しましょう。

○ 「示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述すること」について、正答率が高い。

1 (3)

- (3) 次に、くるみさんは、カップケーキの個数を7個にそろえて考えることにしました。

Bセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1470 \div 3$ 」で求めることができるわけについて考えます。そのわけを、【ゆうどさんの説明】と同じように、言葉と数を使って書きましょう。

【くるみさんの考え】

Aセットのカップケーキ7個分の値段 $1050 \div 2 = 525$ 525円
Bセットのカップケーキ7個分の値段 $1470 \div 3 = 490$ 490円
カップケーキ7個分の値段は、Bセットのほうが安くなります。



Aセットのカップケーキ7個分の値段を、 $1050 \div 2$ で求めることができるのはどうしてですか。

ゆうどさんは、Aセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1050 \div 2$ 」で求めることができるわけについて、下のように説明しました。



Aセット (14個入り)
1050円



【ゆうどさんの説明】

1列のカップケーキが7個ずつ2列あります。2列の値段が1050円なので、1050を2等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができます。



Bセット (21個入り)
1470円

(3)	正答率
山口県	81.5%
全 国	76.0%

【正答例】 1 (3)

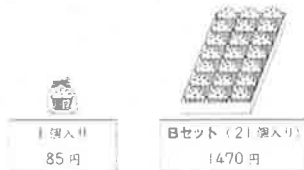
1列のカップケーキが7個ずつ3列あります。
3列の値段が1470円なので、1470を3等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができます。

●課題のみられる点


● 「示された場面において、目的に合った数の処理（概数）の仕方を考察すること」について、課題がみられる。

1 (4)

131 カップケーキが1個入り85円で売られています。
くるみさんは、1個入り85円のカップケーキ21個分の値段と、Bセット
1箱分の値段である1470円を比べることにしました。



1個入り85円のカップケーキ21個分の値段は、 85×21 で求めることができます。

 くるみ 85 × 21の答えが1470より必ず大きくなることは、85 × 21をそのまま計算せずに、85と21をいっしょに数にして計算してもわかりやすい。

85 × 21の答えが、1470より必ず大きくなるのがわかるためには、「85」と「21」をどのようにいっしょに数にして計算するとよいですか。下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 85を小さくみて80、21を小さくみて20として計算します。
- イ 85を小さくみて80、21を大きくみて30として計算します。
- ウ 85を大きくみて90、21を小さくみて20として計算します。
- エ 85を大きくみて90、21を大きくみて30として計算します。

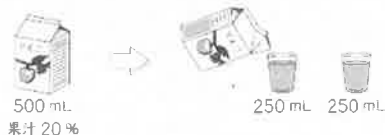
	正答率
山口県	29.9%
全国	34.8%

【正答】 1 (4) ア

● 「数量（飲み物の量）が変わっても割合（飲み物の濃さ）は変わらないことを理解すること」について、課題がみられる。

2 (3)

132 リんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500 mLあります。
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250 mLになります。



250 mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250 mLは、500 mLの $\frac{1}{2}$ の量です。
このとき、

上の ア にあてはまる文を、下の 1 から 3 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

	正答率
山口県	19.4%
全国	21.4%

【正答】 2 (3) 3

(3) -③ 具体的な問題と解答状況 ー小学校理科ー


○相当数の児童ができている点

○ 「問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつこと」について、正答率が高い。

1 (1)

1 ひろしさんたちは、ナナホシテントウのたまごを見つけました。
ひろしさんは、次のような【問題】を解決するために、ナナホシテントウを飼育しながら観察し、ようすが変化したときに、タブレット型端末に記録していくことにしました。

【問題】
「ナナホシテントウの育ち方は、どのような順なのだろうか。」



ひろしさん

〈ひろしさんの記録〉


ナナホシテントウの観察
5月16日 晴れ 23℃



- ・葉の裏にたまごがある。
- ・たまごは、まとまっていて、黄色で、大きさは1mmぐらい。
- ・たまごは、細長い形をしている。


(1) ほかの人たちも、それぞれ次のような【問題】を解決するために、ナナホシテントウを観察し、記録しています。

【問題】
「ナナホシテントウは、こん虫なのだろうか。」




みどりさん

【問題】
「ナナホシテントウは、どんなところをすみかにしているのだろうか。」



なつこさん

【問題】
「ナナホシテントウは、幼虫から成虫になるまでに、食べ物は変わるのだろうか。」



あきらさん

下の記録は、だれが記録したものと考えられますか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

ナナホシテントウの観察
5月23日 くもり 25℃



- ・たまごからかえって4日目。
- ・幼虫が、一度皮をぬいだ。
- ・アブラムシを食べている。

考えたこと
今も、アブラムシを食べているから、皮をくり返しぬいでも、アブラムシを食べると思う。

- 1 ひろしさん
- 2 みどりさん
- 3 なつこさん
- 4 あきらさん

【正答】 1 (1) 4

	正答率
山口県	93.8%
全国	92.9%

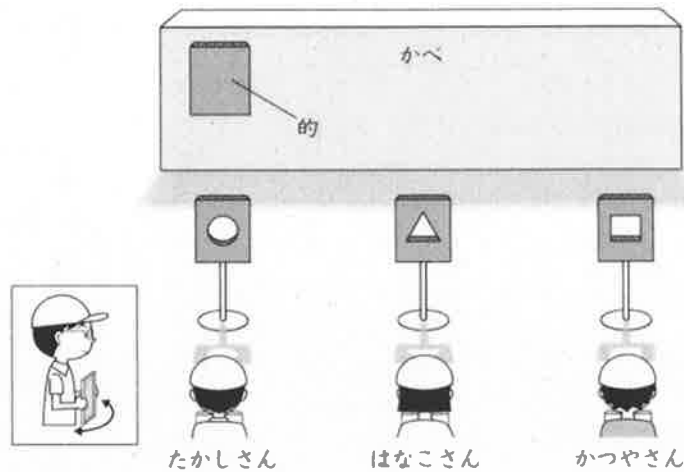
●課題のみられる点

- 「光は直進するという性質を基に、条件に合う状況を選ぶこと」について、課題が見られる。

3 (1)

3

たかしさんたちは、晴れた日に科学クラブで、同じ大きさの鏡を使い、日光をはね返して、的をあてゲームをしました。



上の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、円形、三角形、四角形に切りぬいた、鏡と同じ大きさの段ボールの板を置きました。

(1) 3人が上の図の位置で鏡の向きを変え、それぞれが日光をはね返して、3つの段ボールの板にあてたときに、かべの左にある的に、三角形の光をあてることができるのはだれですか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 たかしさん
- 2 はなこさん
- 3 かつやさん
- 4 全員

【正答】 3 (1) 3

	正答率
山口県	29.6%
全国	27.8%

(3) -④ 具体的な問題と解答状況 -中学校国語-

○相当数の生徒ができている点

○ 「聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫すること」について、正答率が高い。

1 -

「川口さんは、二人の会話の一部」の「最近、ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じます」という部分に言葉を加えて添うことになりました。あなたならどのように添うと思いますか。実際に添うように書きなさい。

1 川口さんは、国語の時間に、最近になつたことについてスピーチをする学習に取り組んでいます。川口さんは、動画に自分のスピーチを記録し、それを田中さんに見せて発言をもらっています。次の「川口さんのスピーチ」と「二人の会話の一部」を読んで、あとの問いに答えなさい。

川口さんのスピーチ

最近、ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じます。その変化は、学校での学習にも表れていると思います。例えば、授業でインターネットを活用する機会が増えました。特に、オンラインで離れた場所にいる人と会話することもできて、その便利さを実感しています。一方で、相手と直接会っていないので、やりとりをスムーズに行っていくという面もあるのではないかと思います。

先日、総合的な学習の時間で、離れた場所にいる施設の方にオンラインでインタビューをしたことがあります。私は、画面を通してやりとりをしているという状況に気が取られて、相手に必要最小限の言葉を伝えるだけで構構になつてしまいました。そのため、相手の反応を踏まえたやりとりをすることができていないと感じました。後日、そのことを友達に話したところ、「私は、相手の言ったことに付いて相づちを打つように気を付けていました」と話してくれました。

二人の会話の一部

田中 ここまで動画を止めてもらえますか。最近、ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じます。という部分は、聞き手を引き付けるために、呼びかけたり問いかけたりする表現にしてみてもはどうでしょうか。「やりとりをスムーズに行っていく」という部分は、私も同じように感じたことがあります。この後のスピーチの内容に興味をもつことができましたので、と思います。

川口 ありがとうございます。

田中 この動画を聞いてはつきました。オンラインであっても、相手の話すことに相づちを打ったり、相手の話を聞いてさらに質問をしたりするように意識することが大事だと思います。これからは、オンラインで人と話すときにも、このことに気を付けて、相手のやりとりをスムーズに行えるようにしたいと思います。

川口 ナンラインでインタビューをしたときのことを入れてみましたか。どうでしょうか。

田中 身近な内容で実感できました。始めに話したところとつながっている点が良いと思います。

田中 川口さんが伝えた内容は分かりました。ただ、スピーチの冒頭から同じ調子で話しているのが、言葉の抑揚や強弱、調子取り力などの話し方を、夫と比べてはどうでしょうか。例えば、「オンラインで離れた場所にいる人と会話すること」という部分は、伝えた内容に関連することなので、聞き手に関心をもちもらうために、ゆくり大きな声で話すとよいのではないのでしょうか。

川口 なるほど。他の部分も話し方を工夫してみます。

【正答例】 1 -

皆さん、最近、ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じませんか。

	正答率
山口県	78.0%
全国	74.7%

●課題のみられる点

● 「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと」について、課題がみられる。

2 三

2 小林さんは、四語の時間に、「先端技術との関わり方」というテーマで見聞を尋ねています。次は、文庫作成ソフトを使って小林さんが書いた【意見文の下書き】と先生が書いた【コメントの一部】。小林さんがコメントを受けて始めた【農林水産省のウェブページにある資料の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見文の下書き】

私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きくは変わりつつありますが、特別なことが増えていると感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思ふ。

そう思うようになったのは、農業を営む、大きな農場を二人で経営している祖父は、スマート農業についての話を聞いたからだ。祖父は、今年に入ってからロボットトラクターを導入し、作業の効率を自動化した。そのおかげで、労働を減らしたり増やすことには加減を取りのぞく作業も考えようになったという。自分が軽減したことをもつてある祖父は、俺に教り入れているものはないか聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を手がかりで対応できるので、俺には取り入れていない」とのことだった。スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。しかし、祖父は、自分から必要なものを選択して活用していた。これは、私たちが意識しなければならないことだと思ふ。今後、身の回りは様々な先端技術がけちらし普及していくだろう。私も祖父のように、目的に応じて選択しながら先端技術を活用していきたい。

【コメントの一部】

8 上野 俺にどのような効果があるのかを具体的に書いた方がよいのではないだろうか。

9 中村 私も同意です。スマート農業の効果を詳しく知ることで、小林さんが、自分の考えの根拠として書いている内容の信憑性を確かめやすくなると思います。

【農林水産省のウェブページにある資料の一部】

スマート農業について

「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。

⇒「生産現場の問題を先端技術で解決する！農業分野におけるSociety5.0の実現」

※Society5.0：産官学連携する、テクノロジーが駆動した未来社会の姿

スマート農業の効果

- 1 作業の自動化
ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に
- 2 情報共有の簡易化
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、農業者だけでなく生産活動の主体になることが可能に
- 3 データの活用
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に

三 小林さんは、上野さんと中村さんからの「コメントの一部」を踏まえて、で囲まれた「スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ」のすぐあとに、「条件1と条件2にしたがって書きなさい」なお、読み返して文章を直したいときは、「本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「農林水産省のウェブページにある資料の一部」から必要な情報を引用して書くこと。引用する部分は、「かきかっこ」でくくること。

条件2 「例えば」に続けて書くこと。

【正答例】 2 三

(例えば、) 農林水産省のウェブページにある資料には、作業の自動化以外に「情報共有の簡易化」と「データの活用」が示されている。

	正答率
山口県	51.1%
全国	46.5%

(3) -⑤ 具体的な問題と解答状況 - 中学校数学 -

○相当数の生徒ができている点

○ 「簡単な連立二元一次方程式を解くこと」について、正答率が高い。

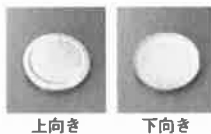
2 連立方程式 $\begin{cases} 2x + y = 1 \\ y = x + 4 \end{cases}$ を解きなさい。

【正答】2 $(x, y) = (-1, 3)$

	正答率
山口県	74.8%
全国	74.5%

○ 「多数回の試行によって得られる確率の意味を理解すること」について、正答率が高い。

5 右の図はある容器のふたです。このふたを多数回くり返し投げたとき、どのくらいの割合で下向きになるかを調べました。



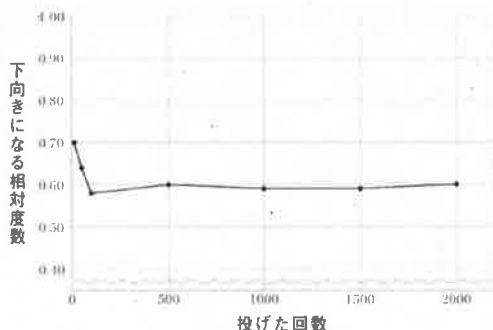
前ページの表や折れ線グラフから、下向きになる確率がどのくらいであるかがいえます。その確率として正しいものを、下のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

次の表は、このふたを投げたときの下向きになった回数を記録し、下向きになる相対度数を求め、小数第3位を四捨五入してまとめたものです。

- ア およそ0.5 イ およそ0.6
ウ およそ0.7 エ およそ1.0

投げた回数	下向きになった回数	下向きになる相対度数
10	7	0.70
50	32	0.64
100	58	0.58
500	299	0.60
1000	589	0.59
1500	889	0.59
2000	1190	0.60

この表をもとに、下向きになる相対度数について次の折れ線グラフに表しました。



【正答】5 イ

	正答率
山口県	83.9%
全国	83.3%

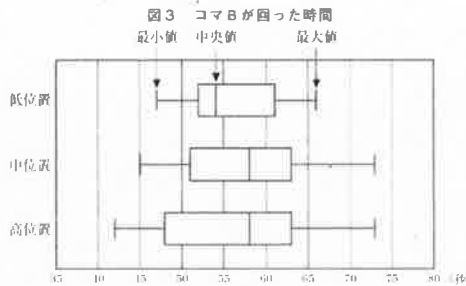
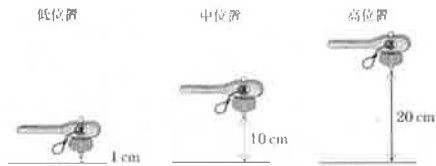
●課題のみられる点

● 「箱ひげ図から分布の特徴を読み取ること」について、課題がみられる。

	正答率
山口県	44.2%
全国	44.1%

7 (2)

(2) 大地さんはコマAを、葉月さんはコマBを選びました。コマを回す練習をしていた葉月さんは、コマを回す高さによって回る時間に違いがあるのではないかと考えました。そこで、次の図のように、1cmの高さを低位置、10cmの高さを中位置、20cmの高さを高位置として、それぞれの位置から20回ずつコマBを回し、コマBが回った時間のデータを位置ごとに集めました。そして、それぞれのデータの散らばりの程度を比較するために箱ひげ図をつくりました。



葉月さんは、前ページの図3の箱ひげ図を比較して考えています。最大値と中央値は、低位置よりも中位置、高位置の方が大きいことから、葉月さんは低位置よりも中位置、高位置の方がより長い時間回ると判断しました。

次に、中位置と高位置の箱ひげ図を比較すると、箱が示す区間は高位置よりも中位置の方が短いことがわかりました。

このとき、箱が示す区間にふくまれているデータの個数と散らばりの程度について正しく述べたものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。
- イ データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。
- ウ データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。
- エ データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。

【正答】 7 (2)ア

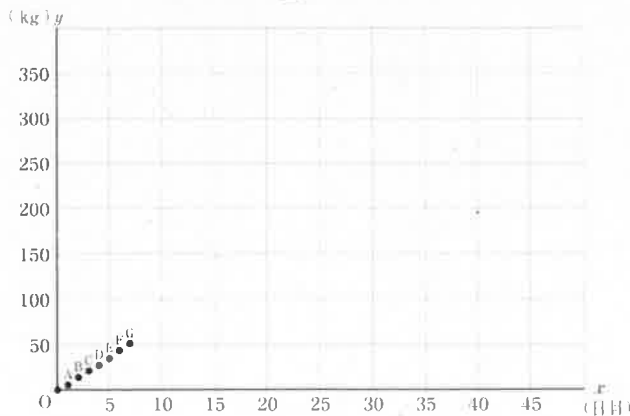
● 「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること」について、引き続き課題がみられる。

8 (2)

(2) 愛理さんは、7日目までの取り組みの結果から、目標を達成できるのがおよそ何日目になるかを予測することになりました。そこで、下の二酸化炭素削減量の合計の記録のグラフにおいて、原点Oから点Gまでの点が一直線上にあるとし、このまま同じように取り組みを続け、二酸化炭素削減量の合計が一定の割合で増加すると仮定して考えることにしました。

	正答率
山口県	39.4%
全国	38.4%

二酸化炭素削減量の合計の記録のグラフ



このとき、目標の300kg削減を達成できるのがおよそ何日目になるかを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に何日目になるかを求める必要はありません。

【正答例】 8 (2)
 原点Oを通る直線のグラフをかき、 $y = 300$ のときの x 座標を読む。

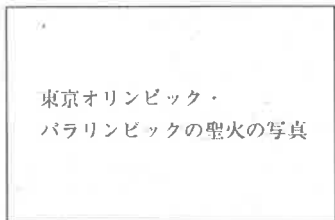
(3) -⑥ 具体的な問題と解答状況 ー中学校理科ー

○相当数の生徒ができている点

○ 「分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表すこと」について、正答率が高い。

3 (1)

3 東京オリンピック・パラリンピックの聖火の燃料に水素が使われたことから、水素の利用について、理科の授業で科学的に探究しました。(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

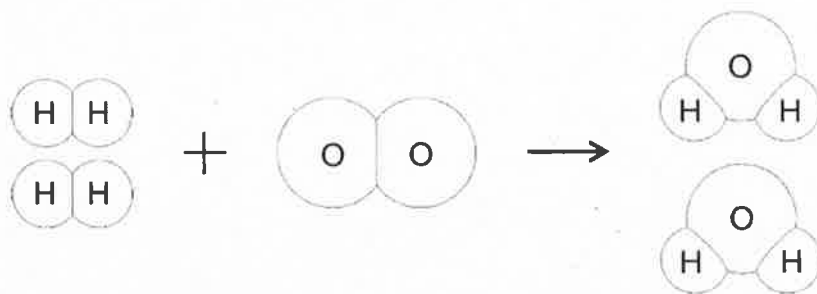


水素の燃焼を化学反応式で表す場面

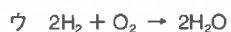
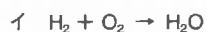


温暖化の原因と考えられている二酸化炭素を出さない燃料として、水素が使われました。

下の分子のモデルで表した図を参考にして、水素の燃焼を化学反応式で表しましょう。



(1) 水素の燃焼の化学反応式を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。



【正答】 3 (1) ウ

	正答率
山口県	79.1%
全国	80.1%

●課題のみられる点

● 「地上の観測データを用いた推論の妥当性について判断すること」について、課題がみられる。

2 (3)

飛行機雲のようすを考察する場面

<10月1日13時>



飛行機雲がすぐ消える

<10月15日13時>



飛行機雲が長く残る



山本さん

日によって、飛行機雲がすぐ消えたり、長く残ったりします。なぜだろう。



山本さん

飛行機雲の残り方は、湿度と関係していると考えます。



中村さん

飛行機雲を撮影した日時の百葉箱の観測データを調べました。

百葉箱の観測データ			
日時	気温(℃)	湿度(%)	飛行機雲の残り方
10月1日13時	21.5	61	すぐ消えた
10月15日13時	20.3	61	長く残った

私は、このデータから、「湿度は関係していない」と考えます。



先生

飛行機雲は、燃料の燃焼でできた水蒸気が凝結したものです。このことから何が関係していると考えますか。

(3) 中村さんの下線部の考えに対して、どのように判断することが最も適切ですか。下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 観測データの気温が異なるので、「湿度は関係していない」と言える。
- イ 観測データの湿度が等しいので、「湿度は関係していない」と言える。
- ウ 湿度が異なる他の日を調べないと、「湿度は関係していない」とは言えない。
- エ 飛行機雲の高さの湿度を調べないと、「湿度は関係していない」とは言えない。

【正答】 2 (3) エ

	正答率
山口県	27.9%
全国	28.5%

2 質問紙調査の結果

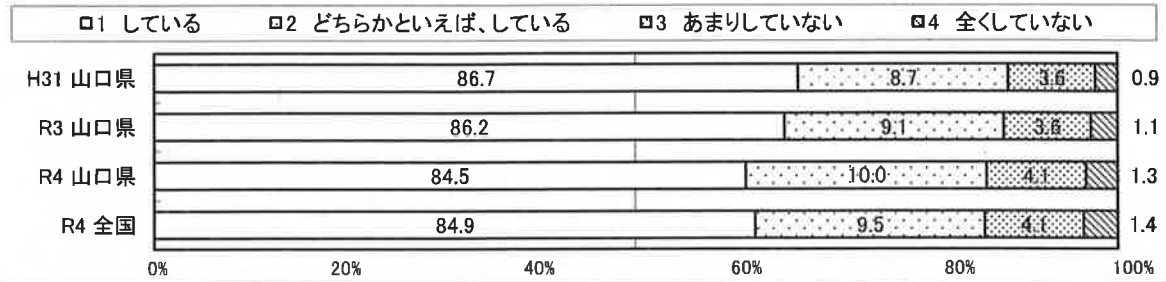
(1) 児童生徒質問紙

① 子どもの意識・生活習慣

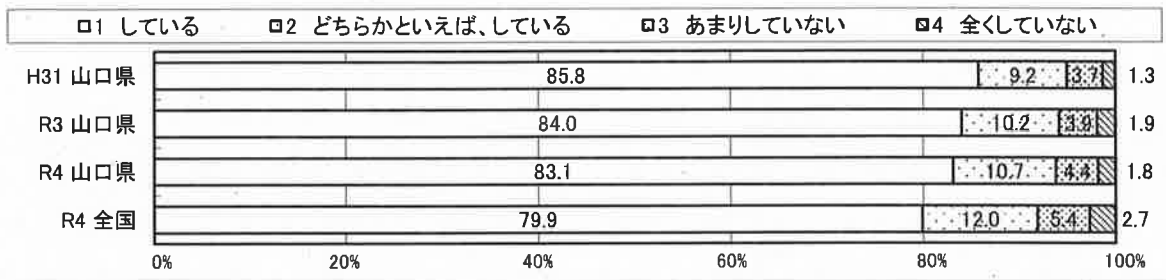
ア 朝食を毎日食べている

- 朝食を毎日食べていると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高いものの、小学校では、前年度より減少している。

【小学校】(1)朝食を毎日食べている



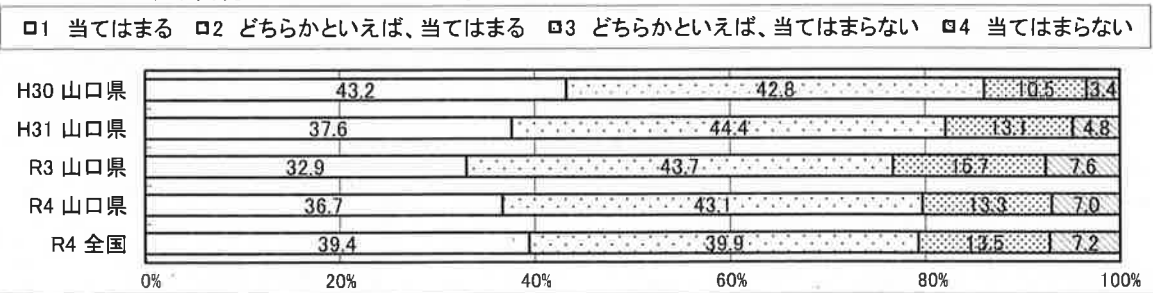
【中学校】(1)朝食を毎日食べている



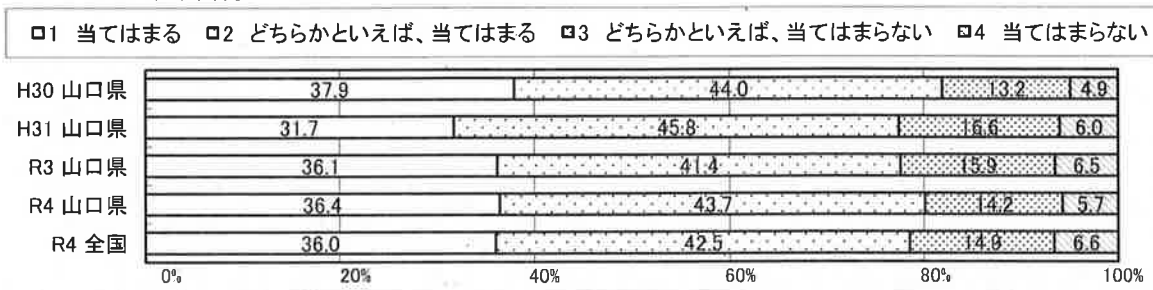
イ 自分にはよいところがある

- 自分にはよいところがあると思うと肯定的に回答した児童生徒の割合は、前年度に比べて増加している。

【小学校】(7)自分にはよいところがあると思う



【中学校】(7)自分にはよいところがあると思う

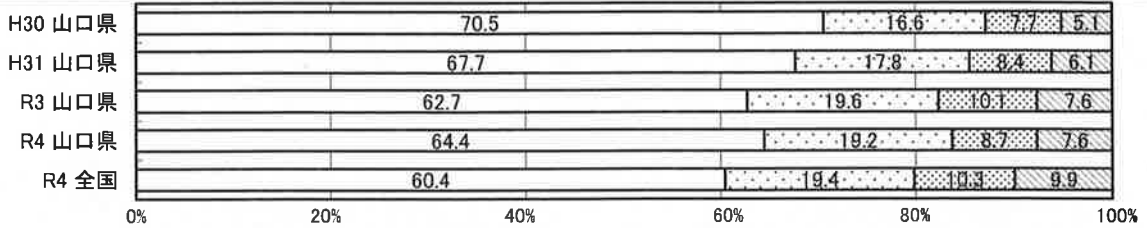


ウ 将来の夢や目標を持っている

- 将来の夢や目標を持っていると回答している児童生徒の割合は、全国と比べて高いものの、中学校では減少傾向がみられる。

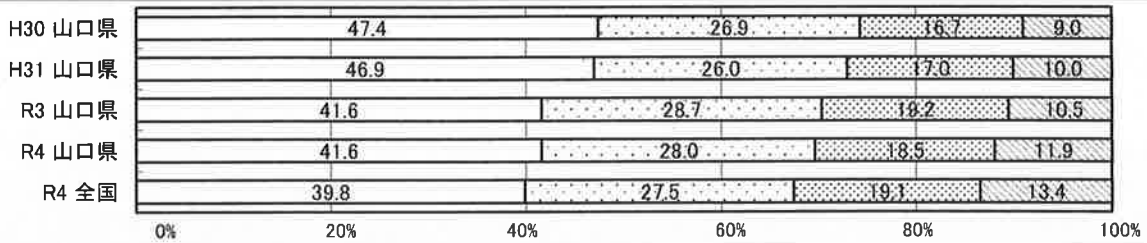
【小学校】 (9) 将来の夢や目標を持っている

- 1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 (9) 将来の夢や目標を持っている

- 1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

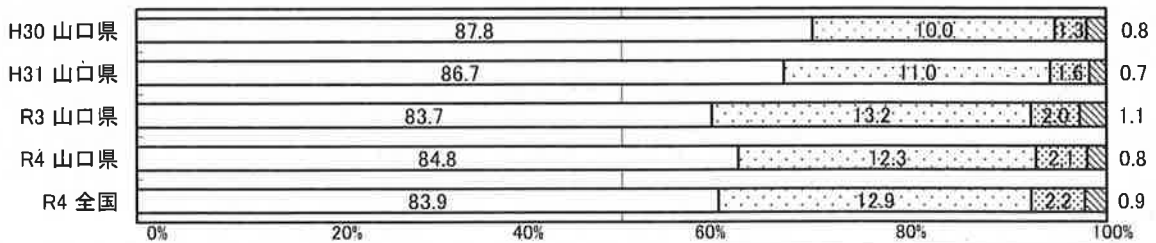


エ いじめは絶対にいけない

- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合は、前年度より増加しており、全国と比べて高い。

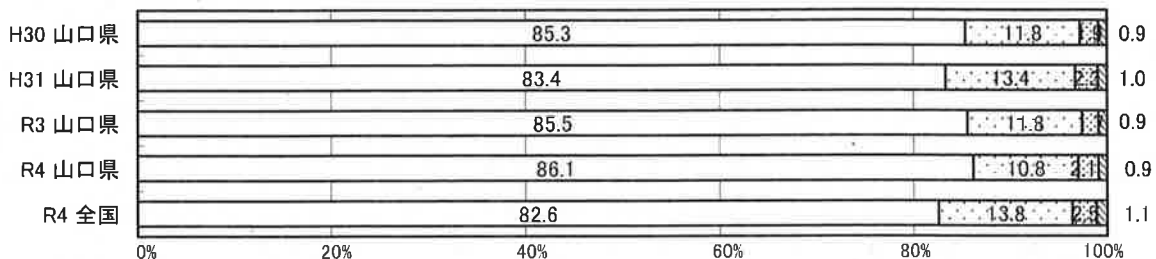
【小学校】 (13) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

- 1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 (13) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

- 1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

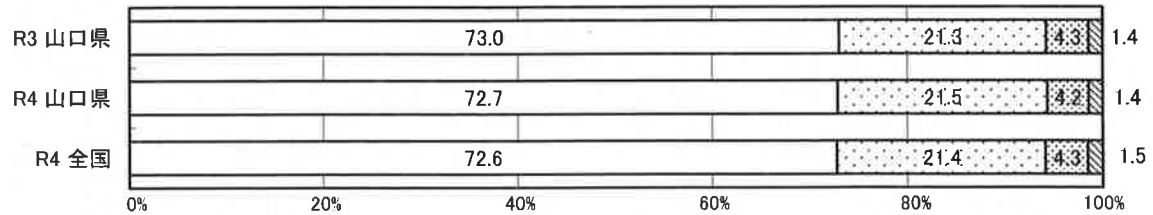


オ 友達と協力するのは楽しい

○ 友達と協力するのは楽しいと回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

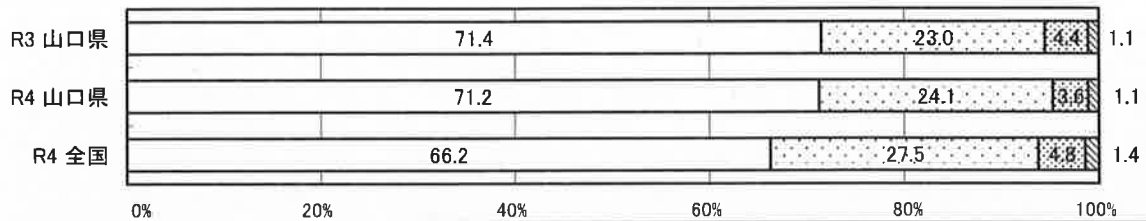
【小学校】(18)友達と協力するのは楽しい

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】(18)友達と協力するのは楽しい

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

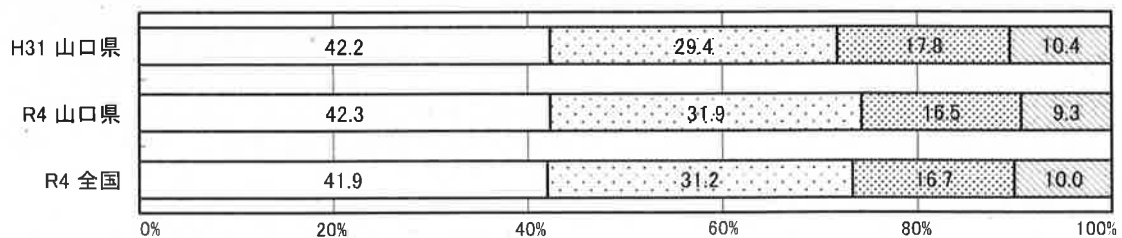


カ 読書が好き

○ 読書が好きと肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

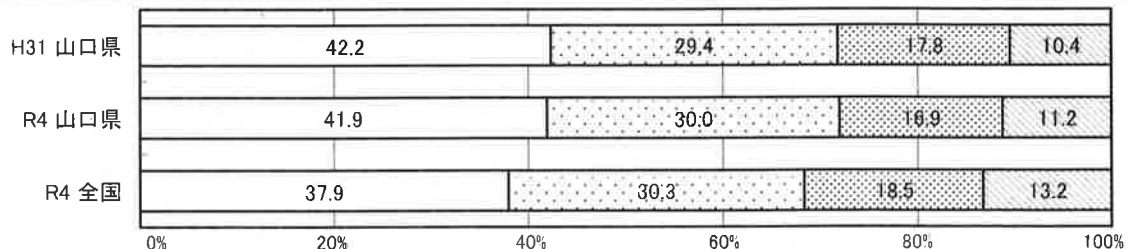
【小学校】(26)読書は好きですか

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】(26)読書は好きですか

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



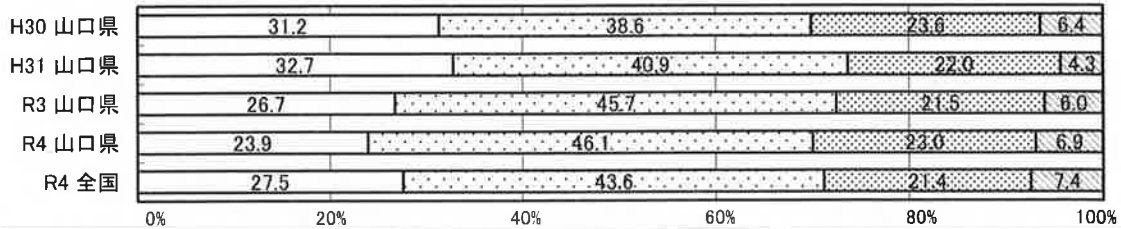
② 学習習慣・ICT

ア 自分で計画を立てた学習

- 家で自分で計画を立ててよく勉強していると回答した児童生徒の割合は前年度より減少しており、全国と比べても低い。

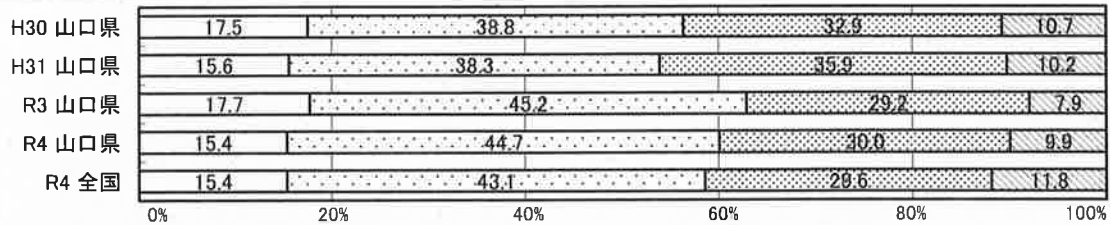
【小学校】(20)家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

□1 よくしている □2 ときどきしている □3 あまりしていない □4 全くしていない



【中学校】(20)家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

□1 よくしている □2 ときどきしている □3 あまりしていない □4 全くしていない

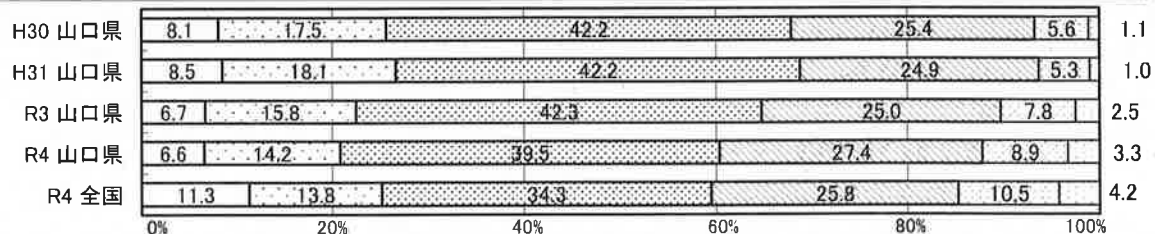


イ 平日の学習時間

- 学校の授業時間以外に、平日、3時間以上、2時間～3時間勉強すると回答した児童生徒の割合は、減少傾向にあり、全国と比べても低い。

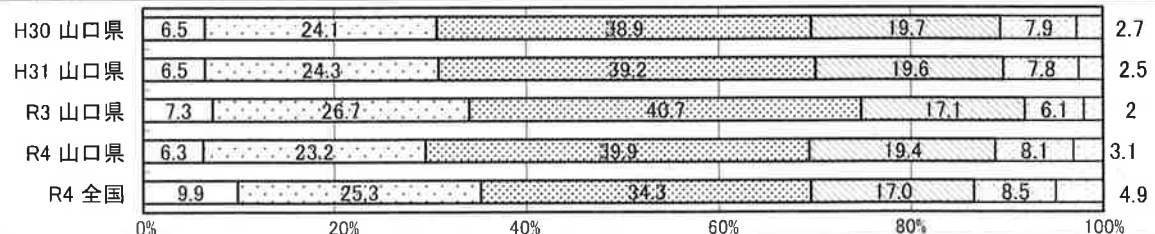
【小学校】(21)学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

□1 3時間以上 □2 2時間～3時間 □3 1時間～2時間 □4 30分～1時間 □5 30分より少ない □6 全くしない



【中学校】(21)学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

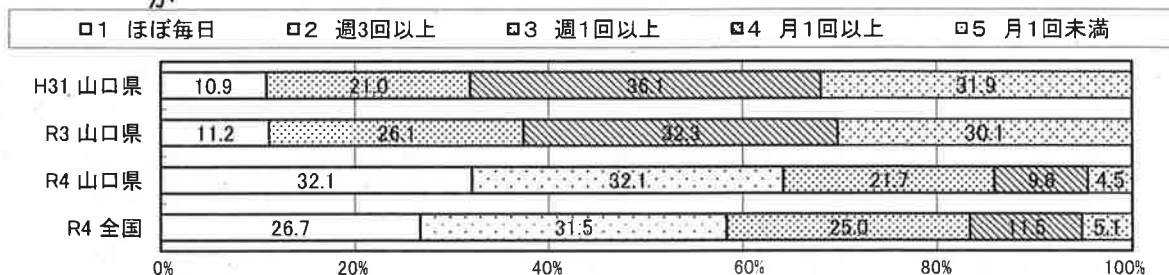
□1 3時間以上 □2 2時間～3時間 □3 1時間～2時間 □4 30分～1時間 □5 30分より少ない □6 全くしない



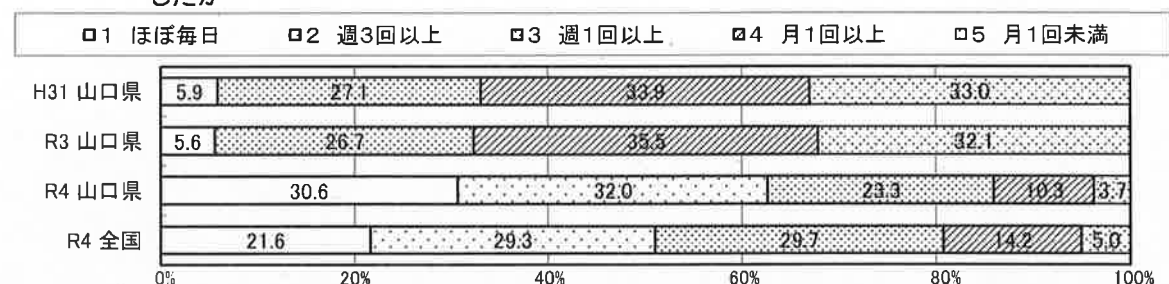
ウ コンピュータやICTをどの程度活用したか

- 前学年までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをほぼ毎日使用したと回答した児童生徒の割合は、前年度に比べて増加しており、全国と比べても高い。

【小学校】(32)5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか



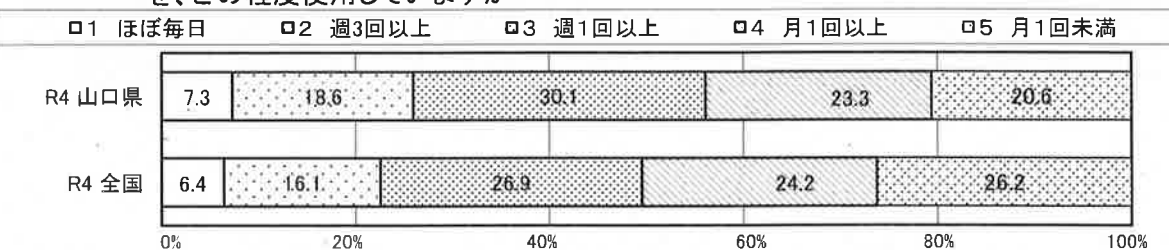
【中学校】(32)1,2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか



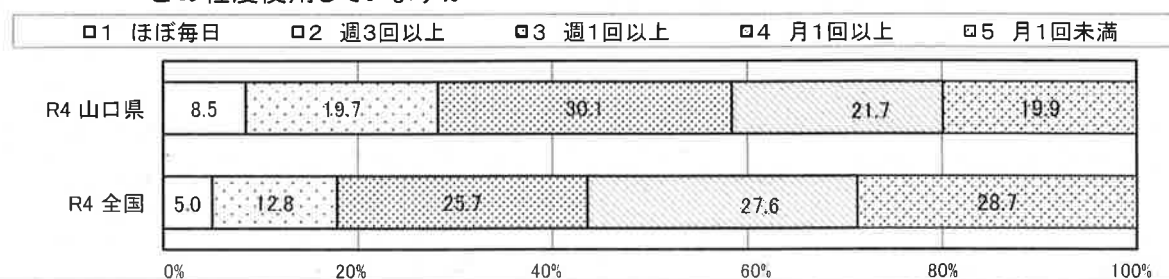
エ 学校で、学級の友達(生徒)と意見を交換する場面でのICT機器の使用

- 学校で、学級の友達(生徒)と意見を交換する場面で、ICT機器をほぼ毎日使用したと回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】(34)学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレット等のICT機器を、どの程度使用していますか



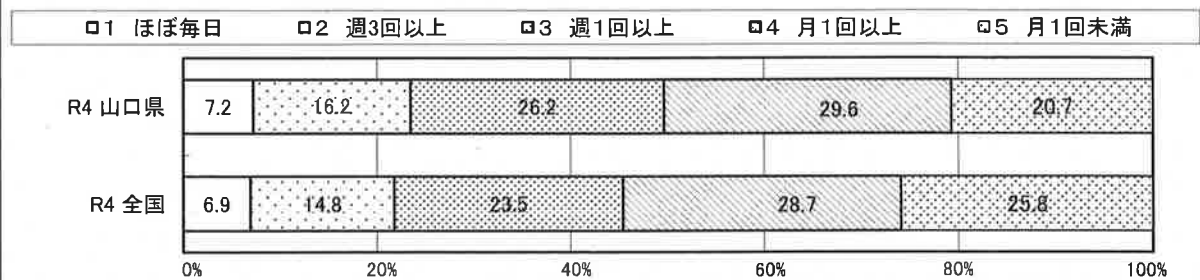
【中学校】(34)学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレット等のICT機器を、どの程度使用していますか



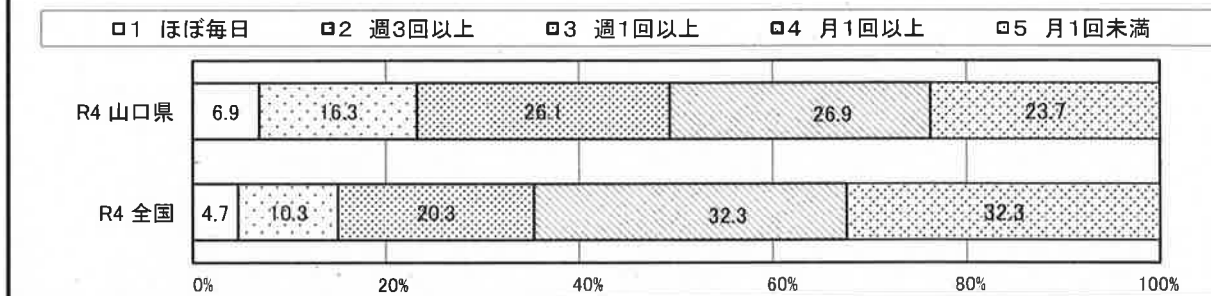
オ 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面でのICT機器の使用

○ 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、ICT機器をほぼ毎日使用したと回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】(35)学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレット等のICT機器を、どの程度使用していますか



【中学校】(35)学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレット等のICT機器を、どの程度使用していますか

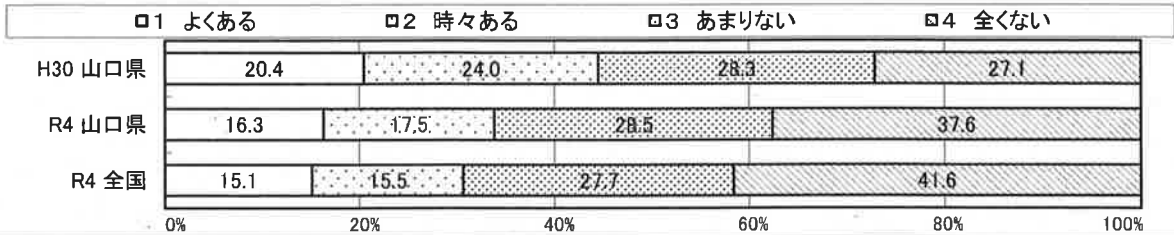


③ 地域や社会との関わり

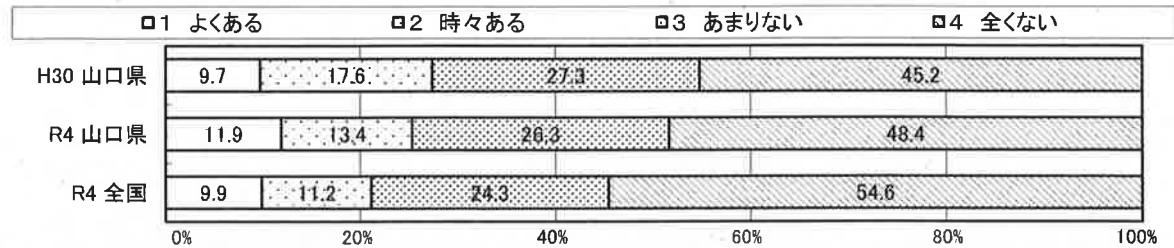
ア 地域の大人に授業等で勉強を教わったり一緒に遊んでもらったりする

○ 地域の大人に、授業等で勉強を教わったり、一緒に遊んでもらったりすることがあると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】(28)地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある



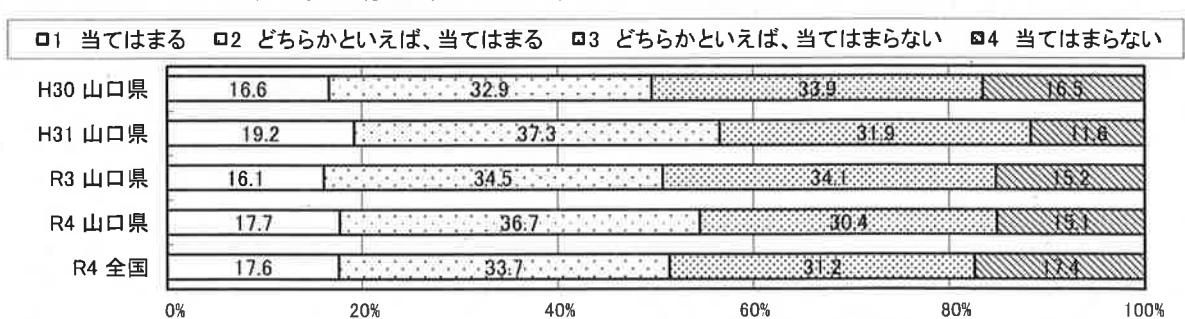
【中学校】(28)地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある



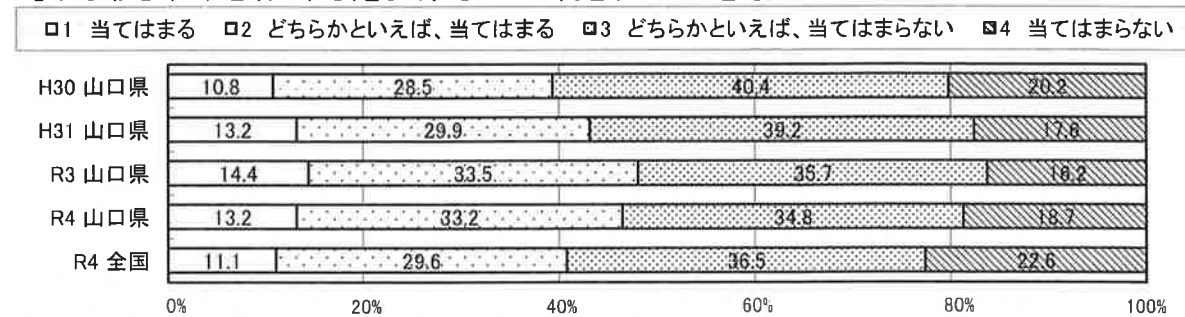
イ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考える

● 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高いものの、中学校では、前年度より減少している。

【小学校】(30)地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある



【中学校】(30)地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある



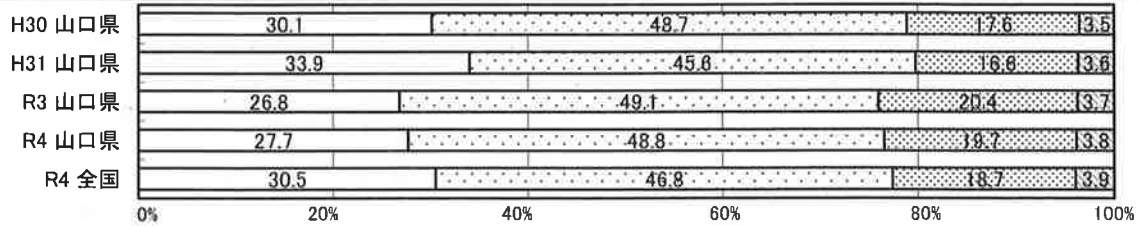
④ 学びに向かう姿勢・授業

ア 課題の解決に向けた主体的な取組

- 小学校では、授業において課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童の割合は、全国と比べて低いものの、前年度より増加している。
- 中学校では、全国と比べて高いものの、前年度より減少している。

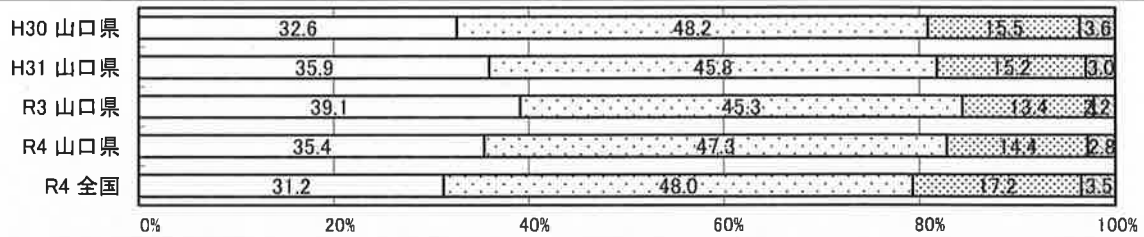
【小学校】(39)授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】(39)授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

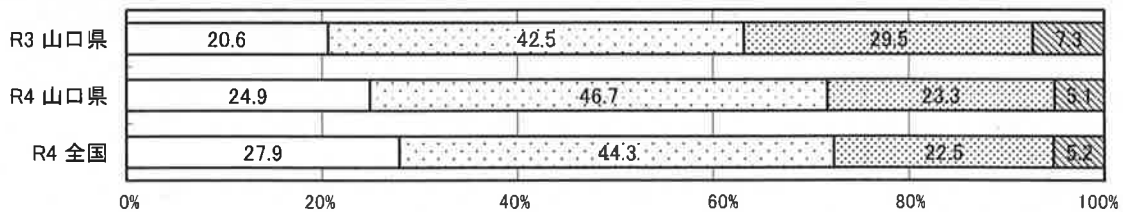


イ 各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動

- 小学校では、授業において各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた児童の割合は、全国と比べて低いものの、前年度より増加している。
- 中学校では、前年度より増加し、全国と比べても高い。

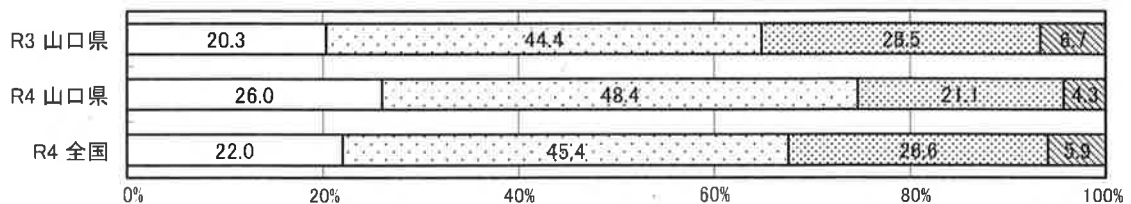
【小学校】(40)授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】(40)授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

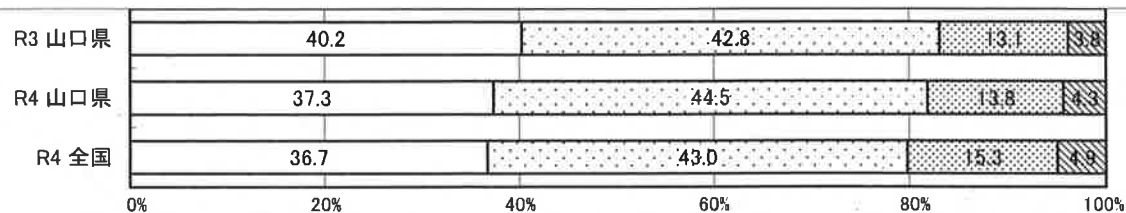


ウ 学習者にあった教え方、教材、学習時間

○ 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていたと回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

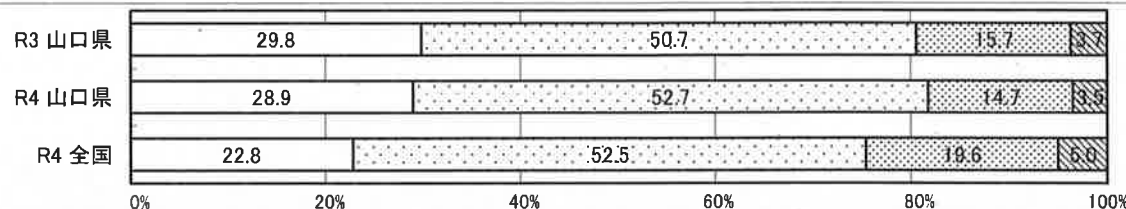
【小学校】(42)授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】(42)授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

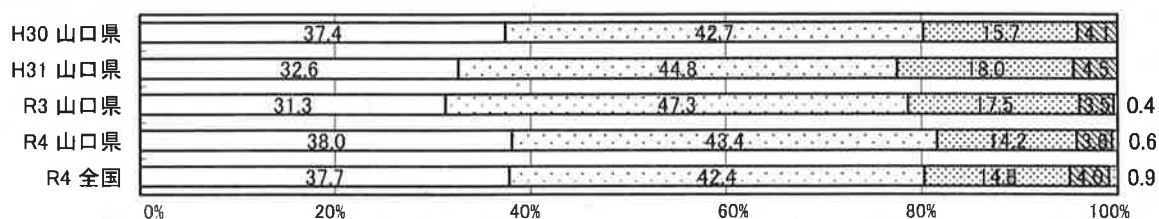


エ 話し合いで自分の考えを深めたり広げたりする

○ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広めたりすることができていると回答した児童生徒の割合は、前年度と比べて増加し、全国と比べても高い。

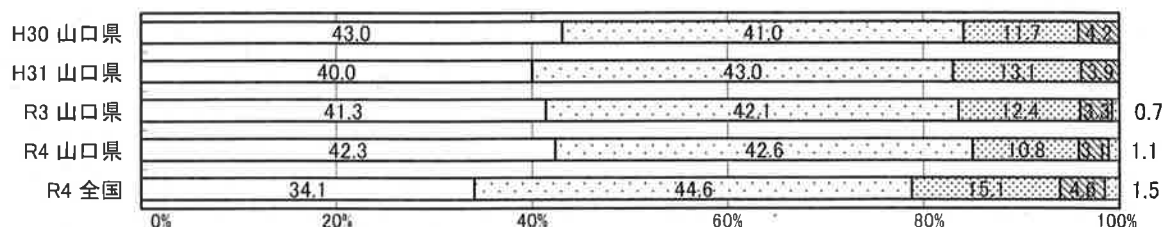
【小学校】(43)学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない
 □4 当てはまらない □5 話し合う活動を行っていない



【中学校】(43)学級の生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない
 □4 当てはまらない □5 話し合う活動を行っていない

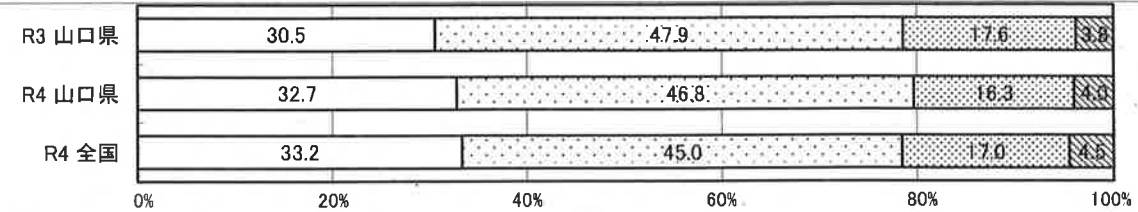


オ 学習内容を見直し、次の学習につなげる

- 学習した内容について見直し、次の学習につなげることができる児童生徒の割合は増加傾向にあり、全国と比べても高い。

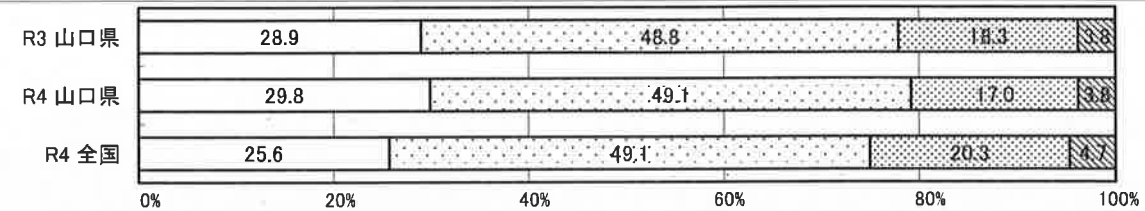
【小学校】(44)学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか

- 1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】(44)学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか

- 1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

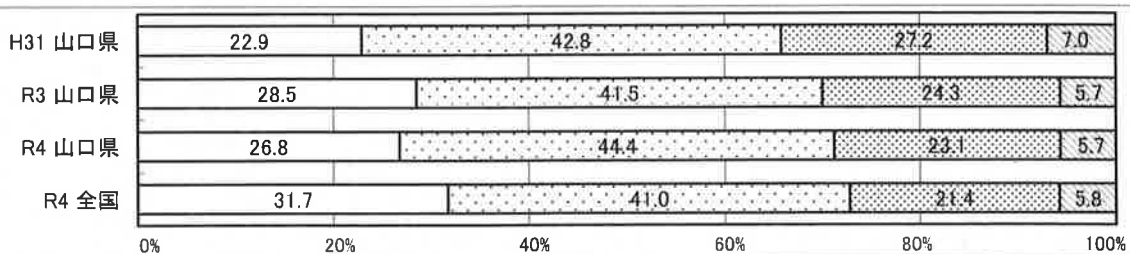


カ 総合的な学習の時間での情報収集や発表等の学習活動

- 小学校では、総合的な学習の時間に、自分の課題を立てて情報収集したり、発表したりするなどの学習活動に取り組む児童の割合は、全国と比べて低い。
- 中学校では、前年度に比べて増加し、全国と比べても高い。

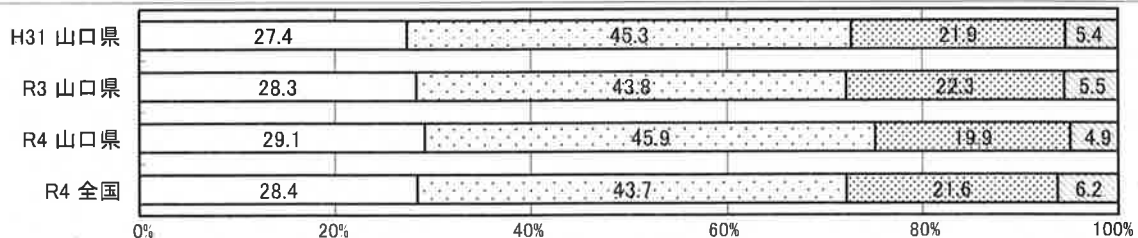
【小学校】(45)総合的な学習の時間では、自分の課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる

- 1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】(45)総合的な学習の時間では、自分の課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる

- 1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

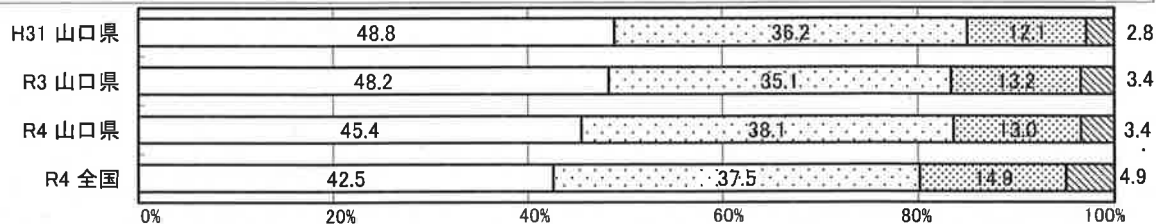


キ 道徳の時間で考えを深める、グループで話し合う

- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、全国と比べても高いものの、前年度より減少している。

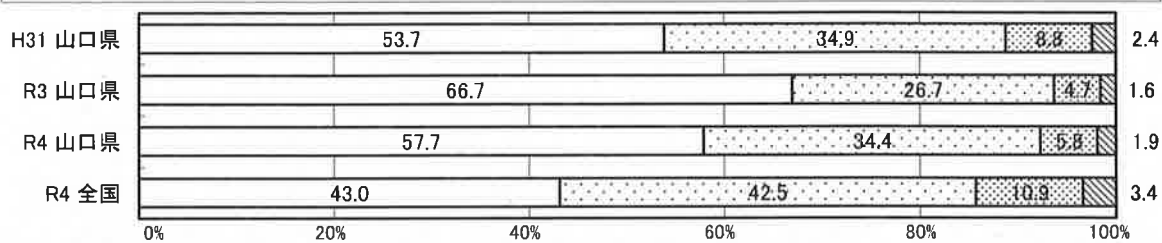
【小学校】(48)道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】(48)道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

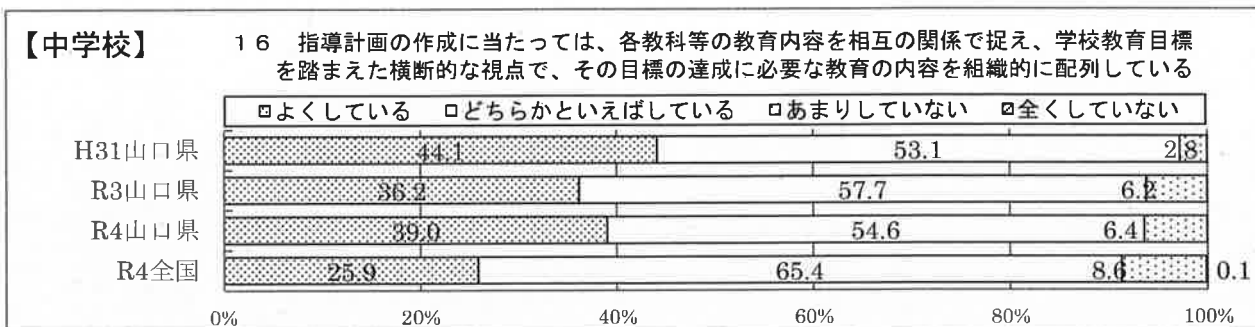
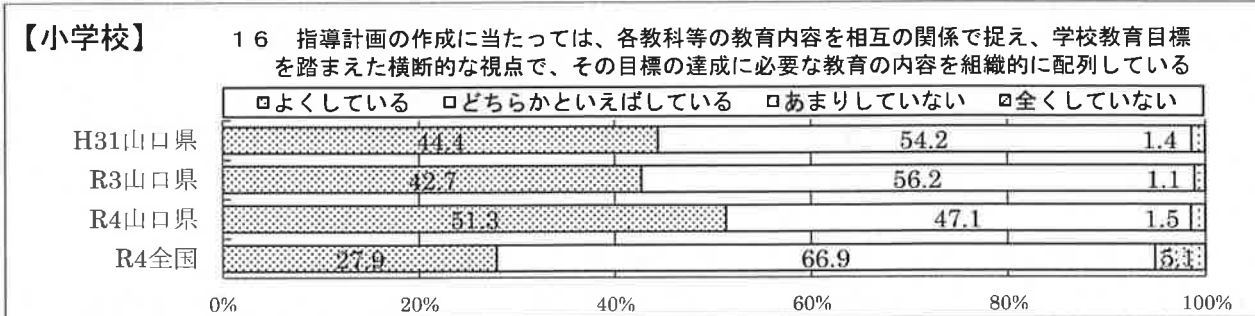


(2) 学校質問紙の結果

① 学校運営

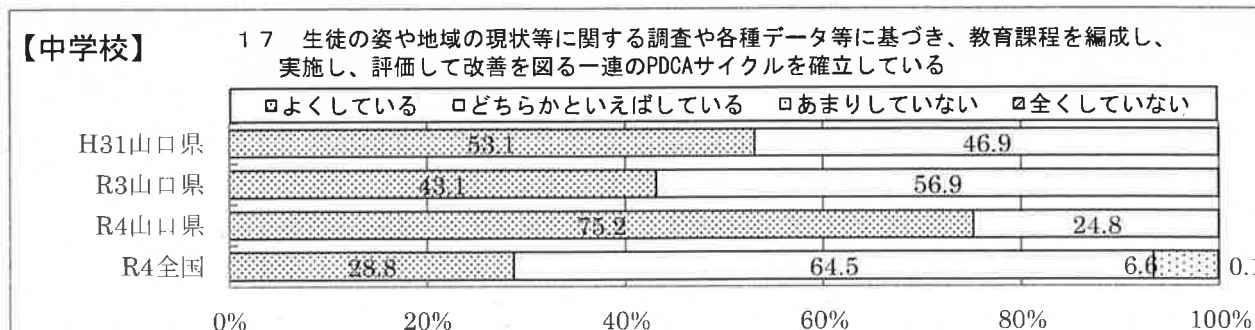
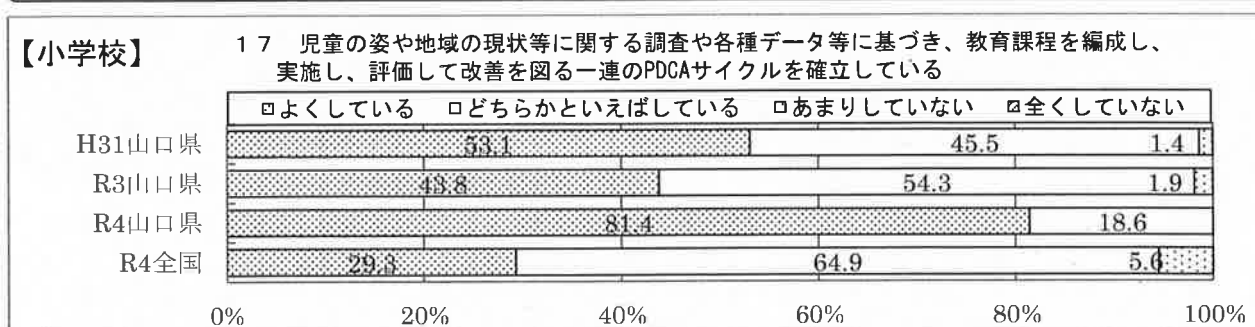
ア 横断的な視点で、教育の内容を組織的に配列して指導計画を作成

○ 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している学校の割合は、全国と比べて高い。



イ 子どもの姿や地域に関するデータ等に基づいたPDCAサイクルの確立

○ 児童生徒の姿や地域の現状に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している学校の割合は、全国と比べて高い。

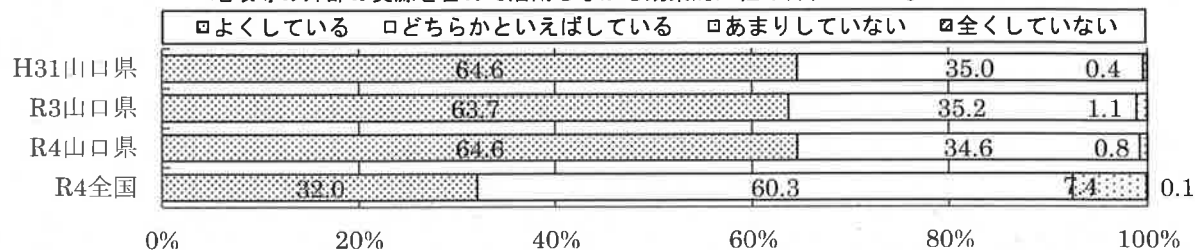


ウ 教育活動に必要な人的・物的資源等の活用

○ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている学校の割合は、全国と比べて高い。

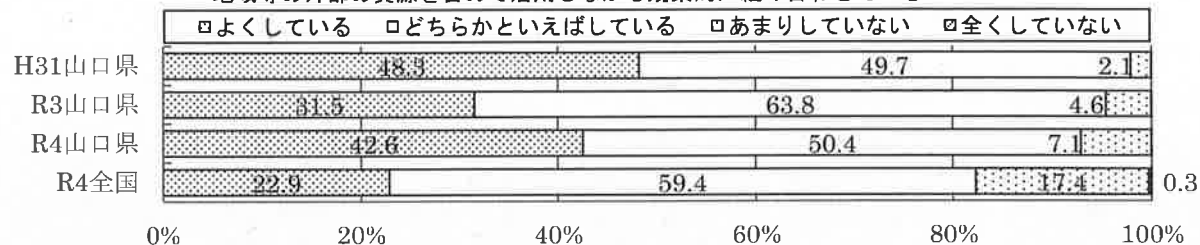
【小学校】

18 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている



【中学校】

18 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている



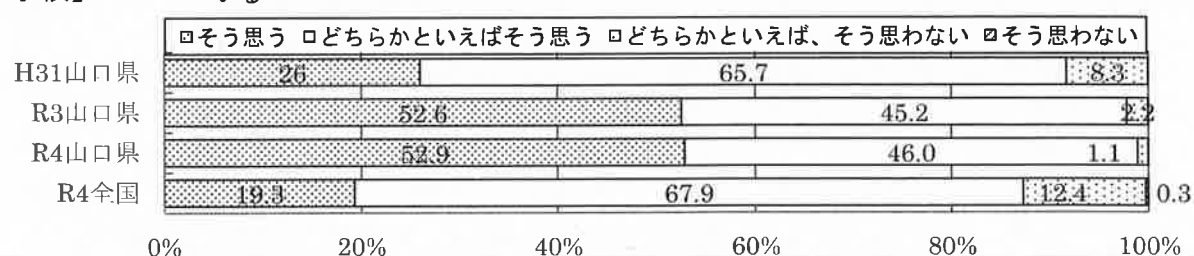
② 学習指導

ア 授業では、児童生徒は自分で考え、自分から取り組む

○ 授業で課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる学校の割合は、全国と比べて高い。

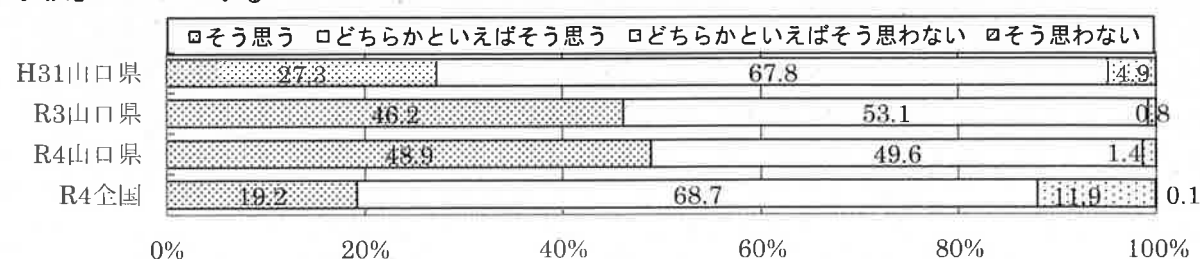
【小学校】

23 児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている



【中学校】

23 生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている



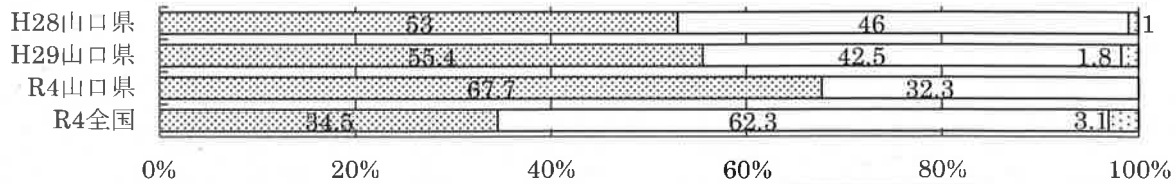
イ 授業における児童生徒の考えを引き出し、思考を深める発問

- 授業において、児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした学校の割合は、全国と比べて高く、増加傾向にある。

【小学校】

28 授業において、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした

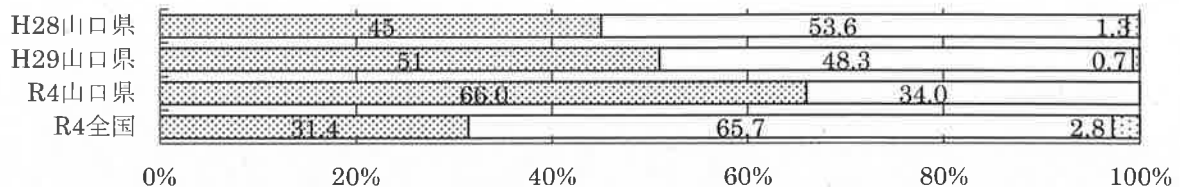
□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



【中学校】

28 授業において、生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした

□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



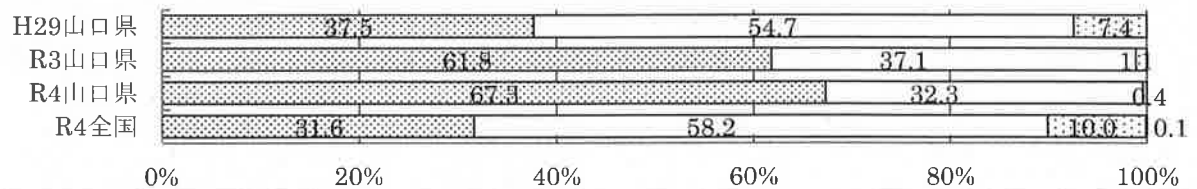
ウ 課題を設定し、話し合い、まとめ、表現する学習活動

- 授業において、児童生徒が自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた学校の割合は、全国と比べて高く、増加傾向にある。

【小学校】

29 授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた

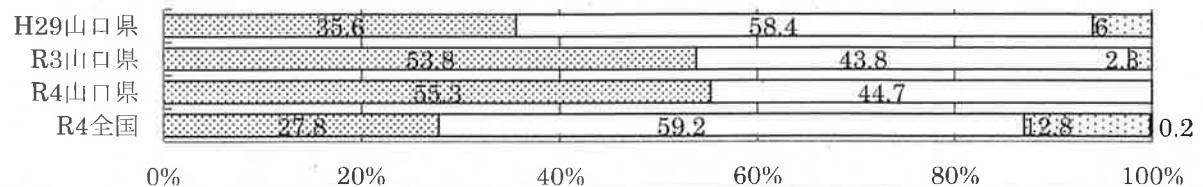
□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



【中学校】

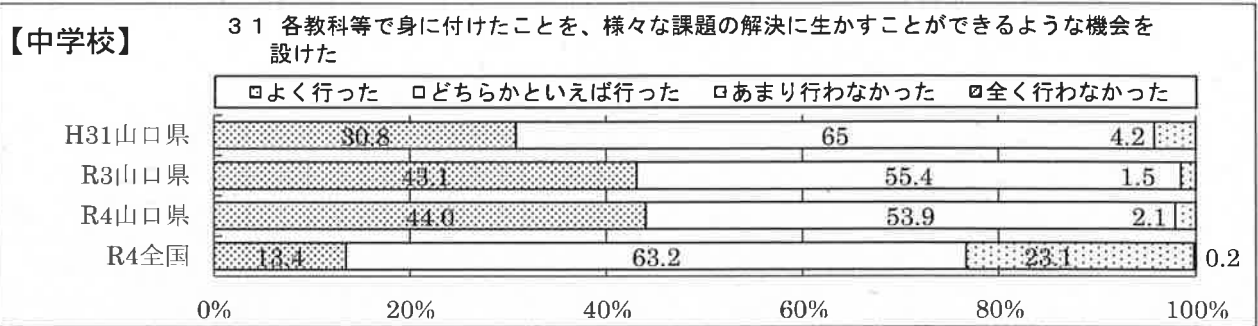
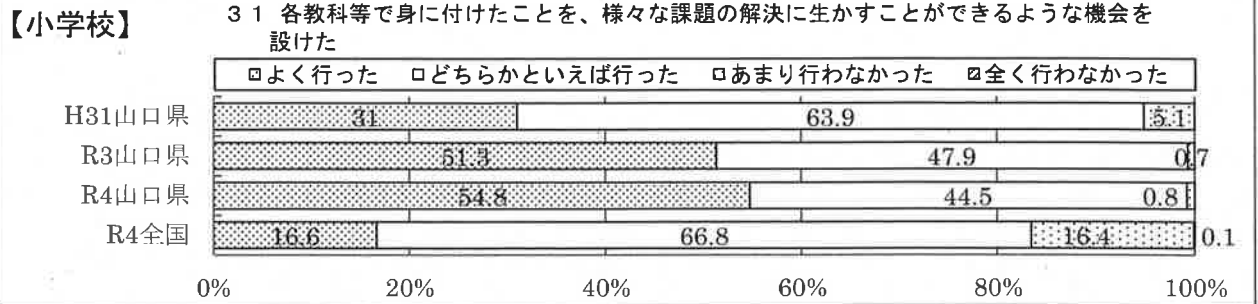
29 授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた

□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



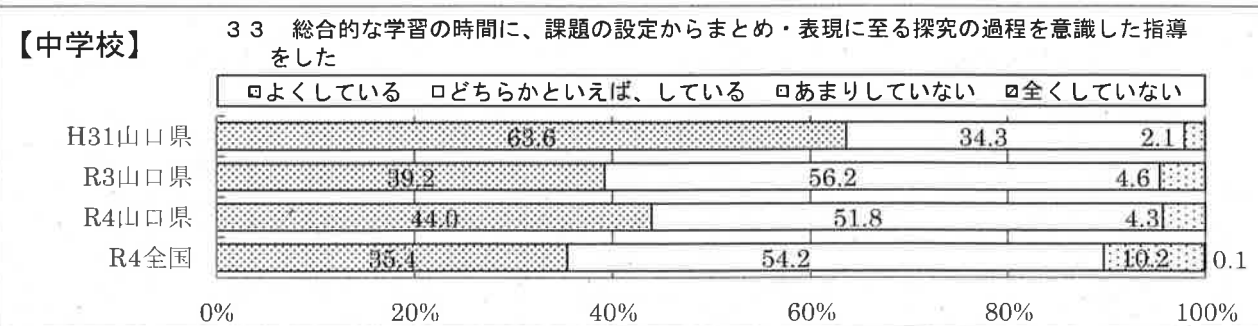
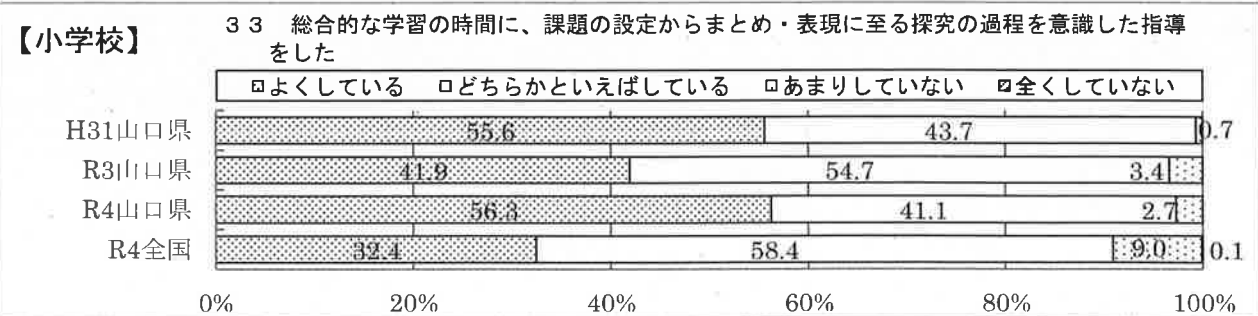
エ 各教科等で身に付けたことを、課題解決に生かす機会の設定

○ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた学校の割合は、全国と比べて高く、増加傾向にある。



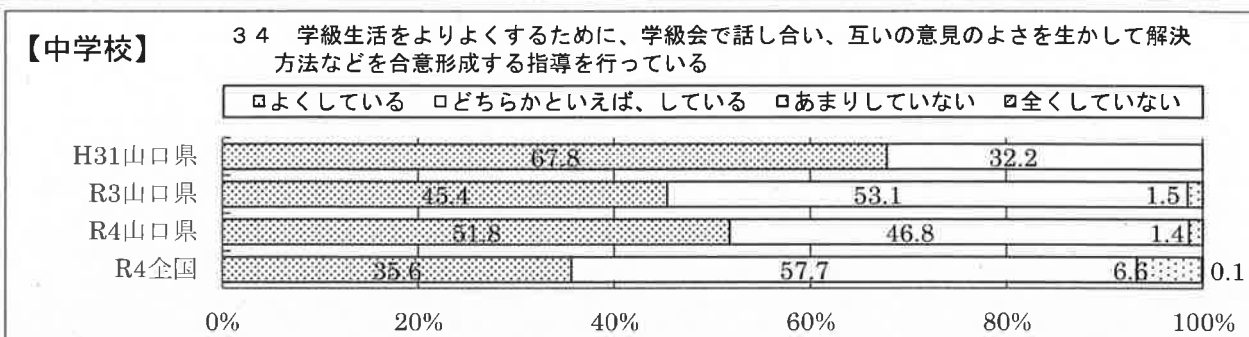
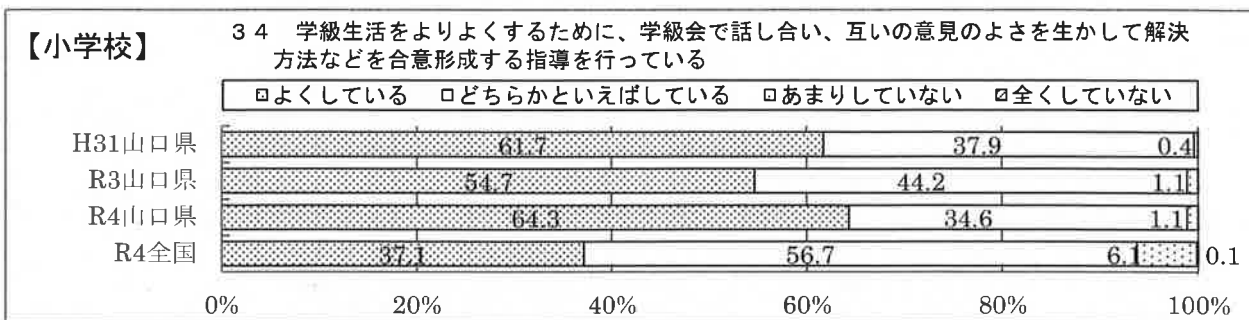
オ 総合的な学習の時間における指導

○ 総合的な学習の時間に、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした学校の割合は、全国と比べて高い。



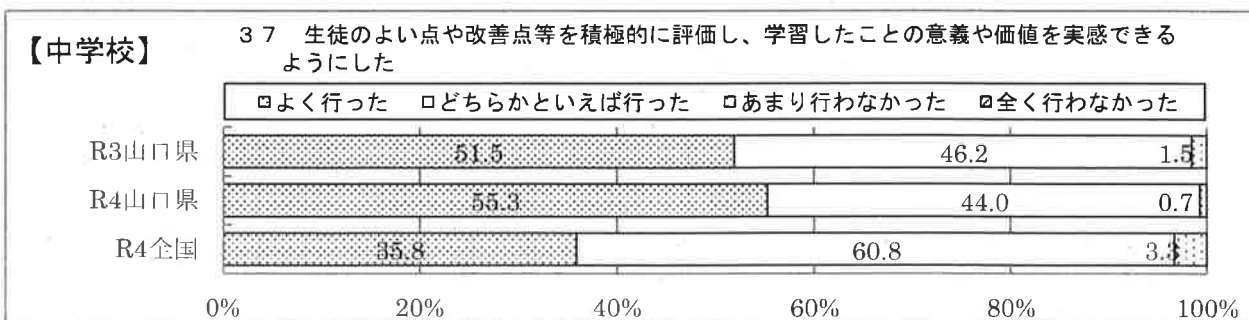
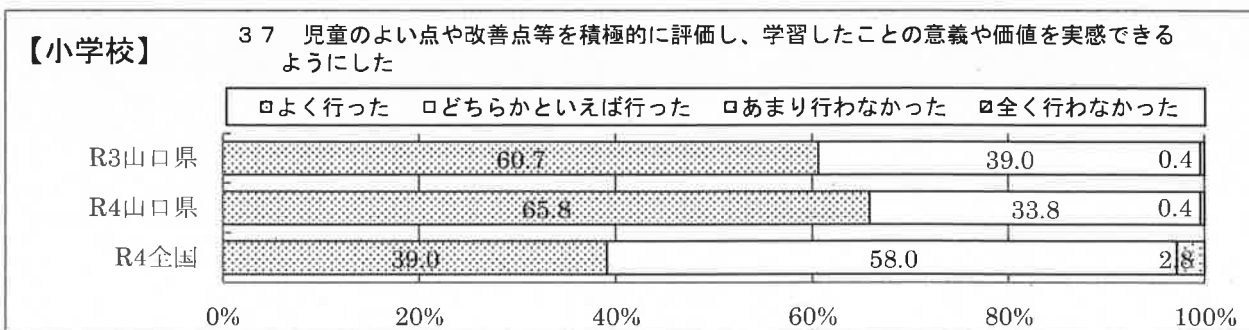
カ よりよい学級生活のために話し合い、合意形成する指導

- 学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成する指導を行っている学校の割合は、全国と比べて高い。



キ 児童生徒のよい点や改善点等の積極的な評価

- 児童生徒のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにした学校の割合は、全国と比べて高く、増加傾向にある。

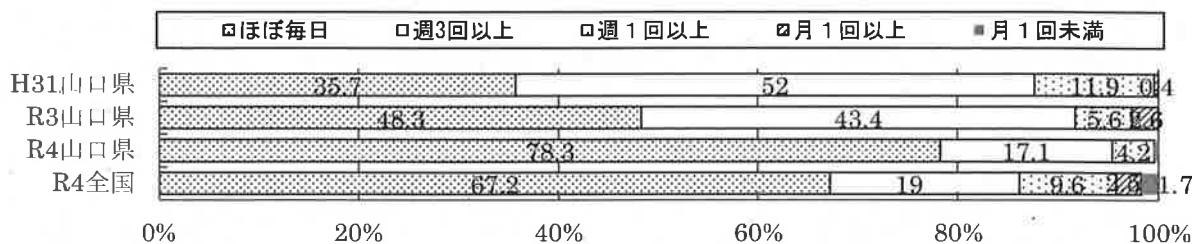


ク 大型提示装置等のICT機器を活用した授業

- 教員が大型提示装置等のICTを活用した授業を1クラス当たりほぼ毎日行った、と回答した学校の割合は、全国と比べて高く、増加傾向にある。

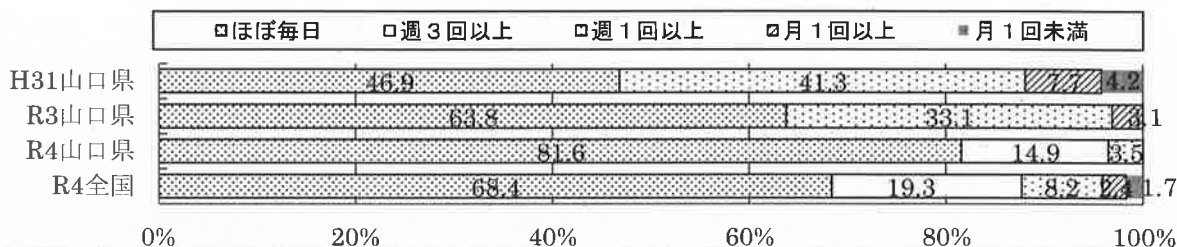
【小学校】

56 教員が大型提示装置等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行ったか



【中学校】

54 教員が大型提示装置等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行ったか

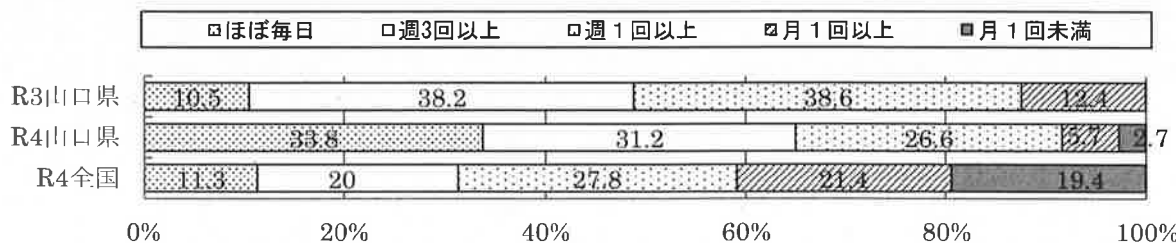


ケ ICT機器を活用した児童生徒同士のやりとり

- 児童生徒がやりとりする場面で、PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用している、と回答した学校の割合は、全国と比べて高い。

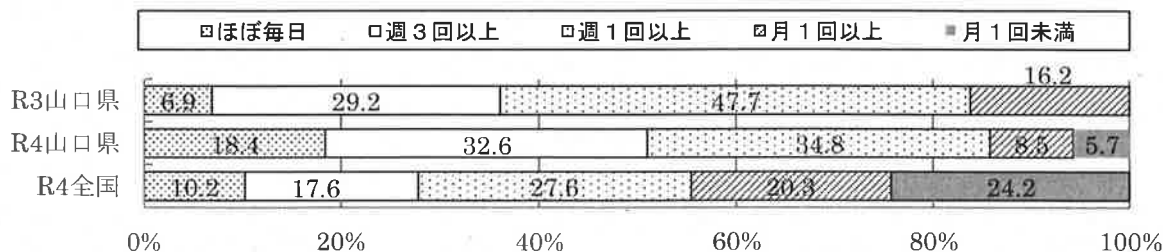
【小学校】

63 児童同士がやりとりする場面で、児童にPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させているか



【中学校】

61 生徒同士がやりとりする場面で、生徒にPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させているか

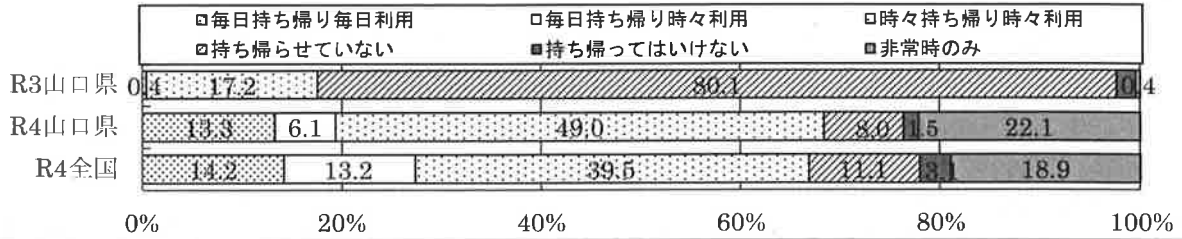


コ 配備された一人一台端末の家庭での利用

- 配備されたPC・タブレットなどの端末を毎日家庭に持ち帰り毎日利用している、と回答した学校の割合は、全国と比べて低く、非常時のみ持ち帰りをしている学校の割合が全国と比べて高い。

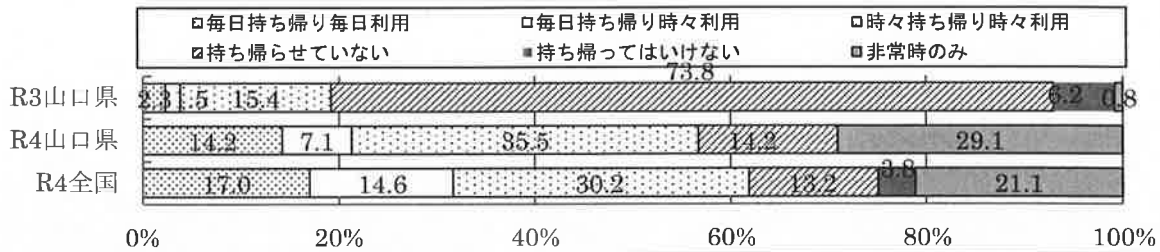
【小学校】

6 6 児童に配備されたPC・タブレットなどの端末をどの程度家庭で利用できるようにしているか



【中学校】

6 4 生徒に配備されたPC・タブレットなどの端末をどの程度家庭で利用できるようにしているか

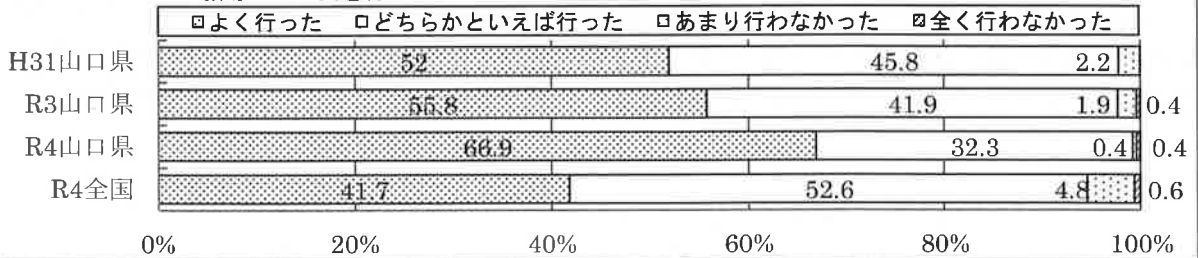


サ 特別支援教育についての理解と、児童生徒の特性に応じた指導の工夫

- 教員が特別支援教育について理解し、授業の中で児童の特性に応じた指導上の工夫を行った学校の割合は、全国と比べて高く、増加傾向にある。

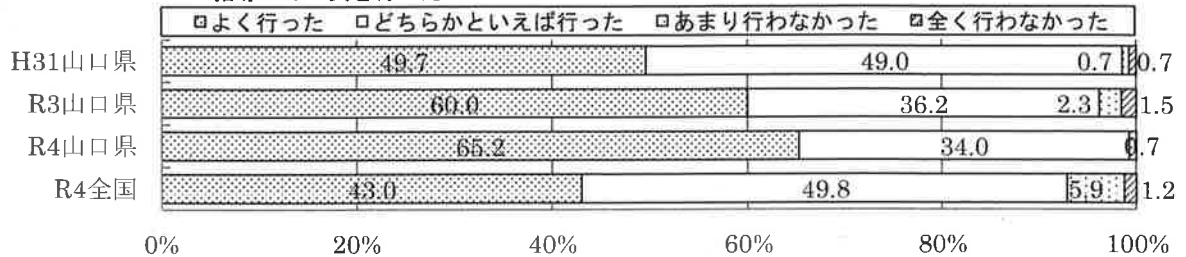
【小学校】

6 8 教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、授業の中で児童の特性に応じた指導上の工夫を行った



【中学校】

6 6 教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、授業の中で生徒の特性に応じた指導上の工夫を行った



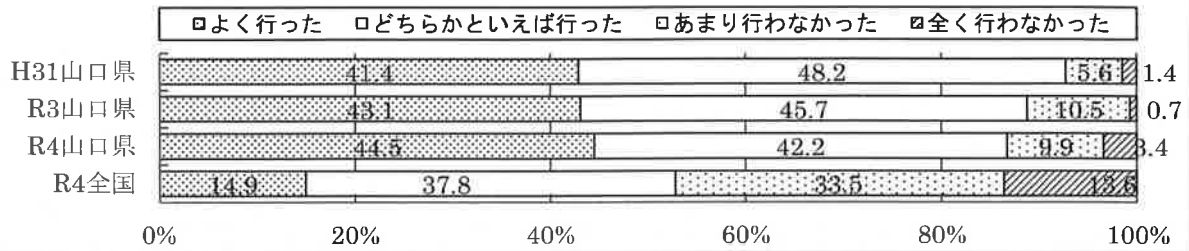
③ 学校・家庭・地域との連携

ア 教育課程に関する小・中学校共通の取組

○ 近隣等の小（中）学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合は、全国と比べて高い。

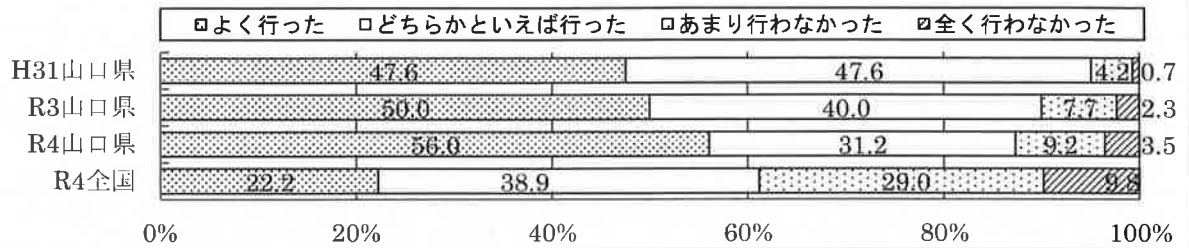
【小学校】

69 近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った



【中学校】

67 近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った

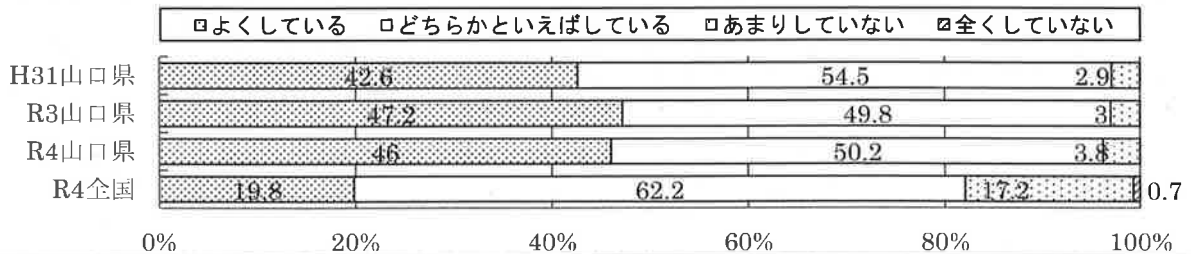


イ 教育課程の趣旨について家庭や地域と共有

○ 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校の割合は、全国と比べて高い。

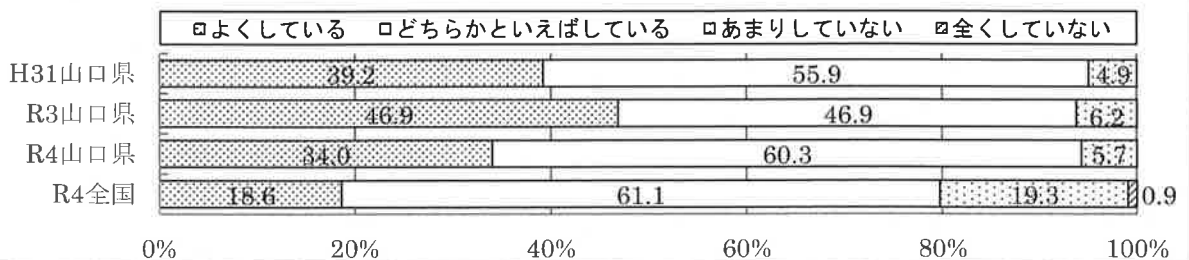
【小学校】

73 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている



【中学校】

71 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている

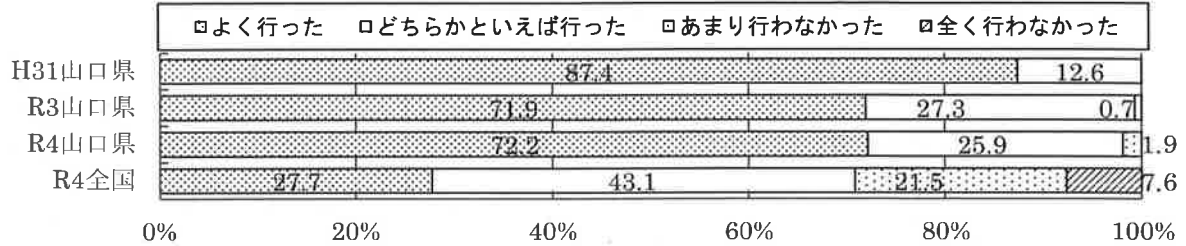


ウ コミュニティ・スクールの仕組みを生かした活動

- 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行った学校の割合は、全国と比べて高い。

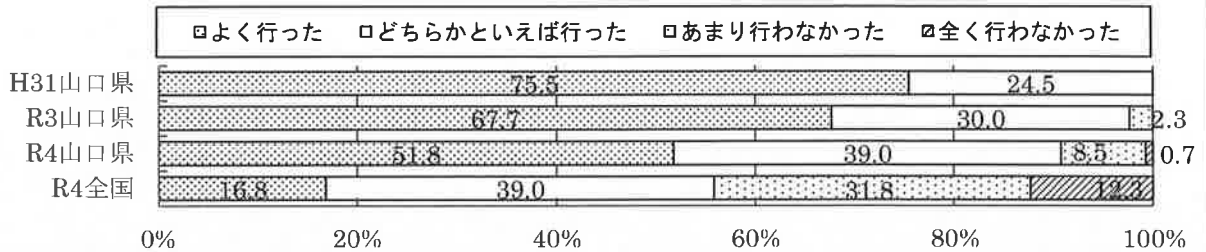
【小学校】

75 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行った



【中学校】

73 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行った

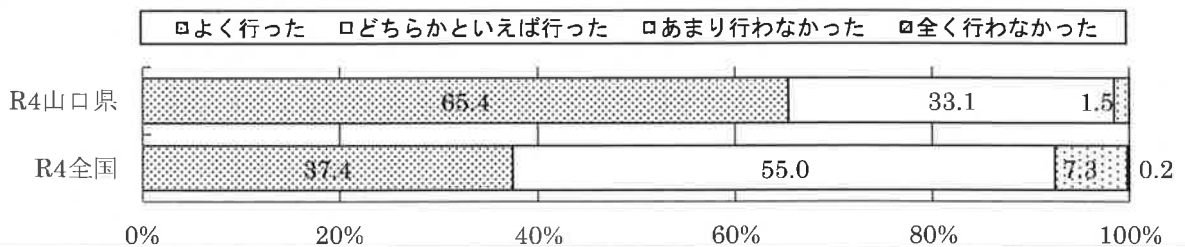


エ 家庭学習を促す働きかけ

- 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った学校の割合は、全国と比べて高い。

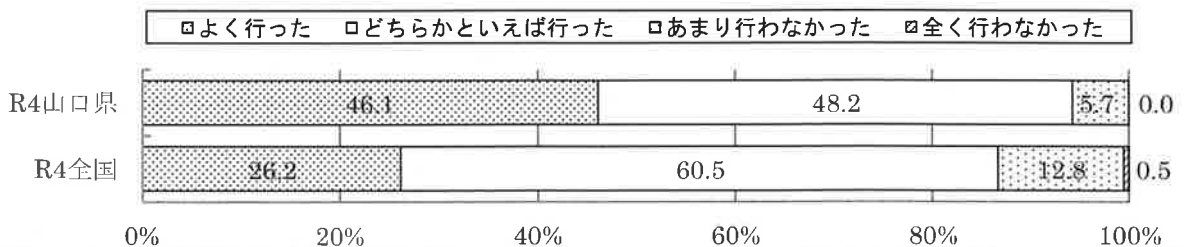
【小学校】

78 保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行った



【中学校】

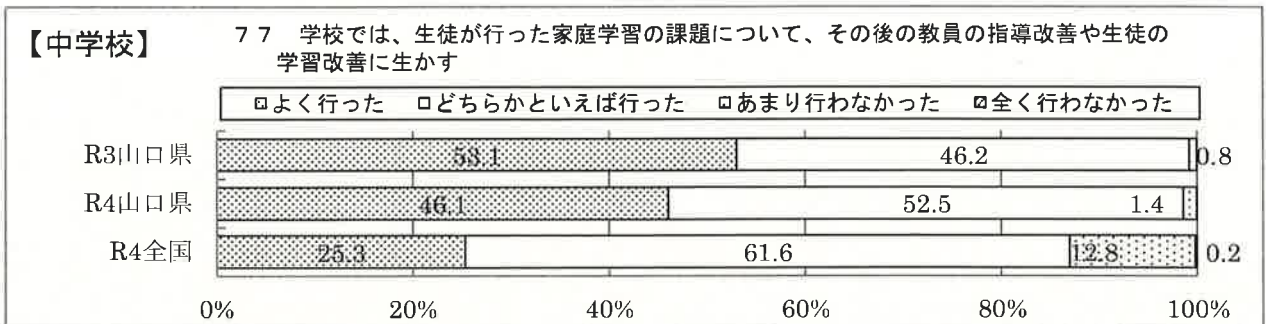
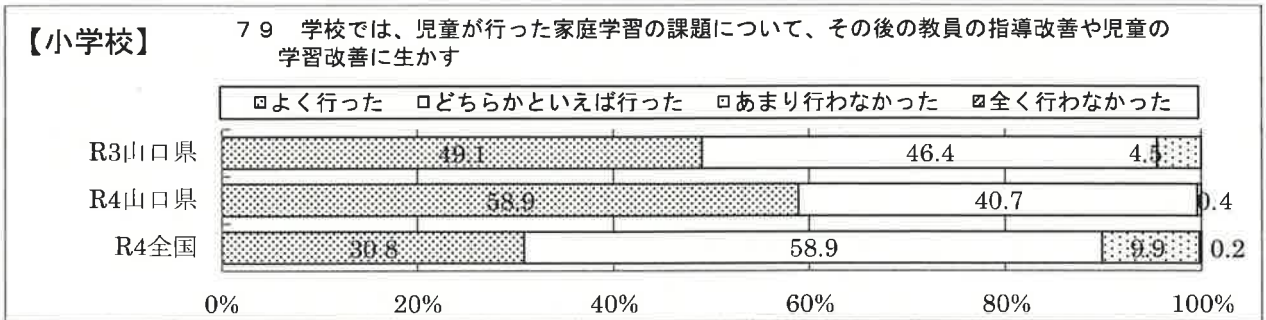
76 保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った



④ 家庭学習・調査結果の活用

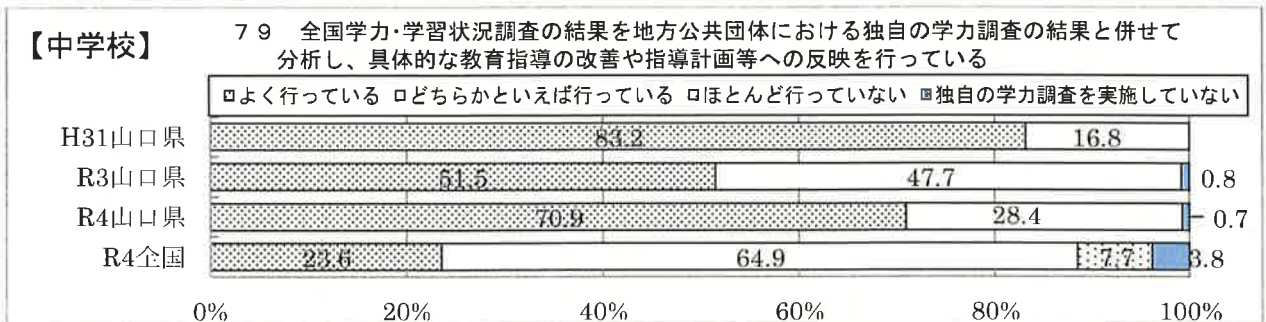
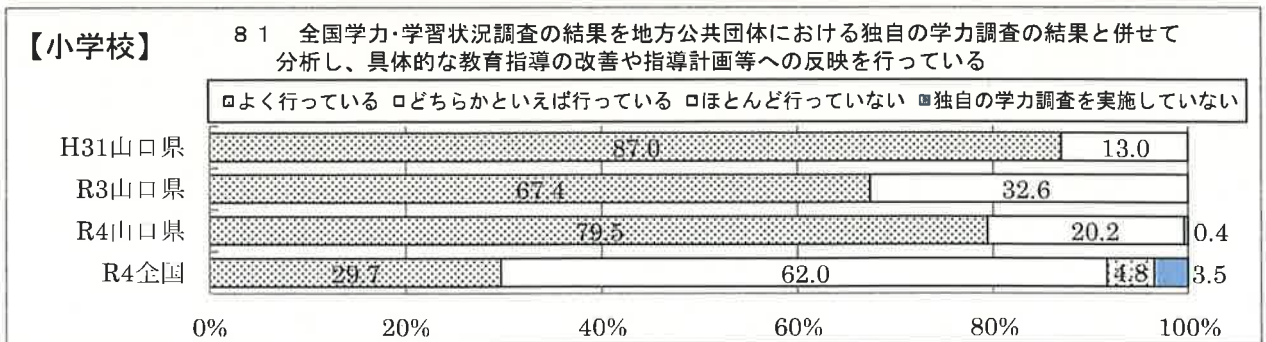
ア 児童生徒が行った家庭学習の課題について、指導改善や学習改善に生かす取組

- 児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かす学校の割合は、全国と比べて高いが、中学校では「よく行った」と回答した割合は減少した。



イ 全国学力・学習状況調査の問題の活用

- 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている学校の割合は、全国と比べて高い。



3 学力向上に向けた今後の取組

- ◆ 県教委、各市町教委、各学校が連携して、以下の二つに取り組む。
- ◆ 「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤とし、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の三つの視点からの取組を推進するとともに、検証改善委員会からの客観的評価を受け、検証改善サイクルに取り組む。
- ◆ 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の更なる充実を図り、児童生徒一人ひとりの確かな学力の定着と向上を図る。

※今回の調査結果を踏まえ、特に重点的に取り組む内容のみ記載

学校の組織力の充実

- ◆ 全校体制による学力課題の焦点化と年間2回の検証改善サイクルの活用
- ・ 児童生徒の誤答分析に基づく学力課題の焦点化と共有
 - ・ 焦点化した学力課題の解決に関する取組の実現
 - ・ 全国調査と学力定着状況確認問題の活用による課題解決に向けた取組の検証・改善
- ◆ 「やまぐち学習支援プログラム」の活用を軸にした組織的な指導体制づくり
- ・ 「やまぐち学習支援プログラム」の実施による児童生徒の学力に関する情報把握
 - ・ 授業における「やまぐち学習支援プログラム」の活用による学力課題の解決
 - ・ 児童生徒一人ひとりの実情に応じたきめ細かな指導の充実
 - ・ 全教職員や地域人材の活用による組織的な補充学習の促進
- ◆ 学力課題を意識した全校体制によるカリキュラム・マネジメント

教員の授業力の向上

- ◆ 「振り返り」に注目し、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善
- ・ 児童生徒自身が、授業で分かった点やよく分からなかった点を見直し、自らの学習活動を振り返って、次の学習にいかそうとする場面（振り返り）を重視した授業改善の推進
 - ・ ICTの活用等による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現
 - ・ 学力向上推進リーダー等を活用した校内研修の充実
- ◆ 教科の専門性やキャリアステージに応じた研修
- ・ 若手・中堅・管理職を対象とした各研修会の改善（事前課題の設定など）
 - ・ 研修成果を校内研修の活性化に反映させることによる各学校の教育活動の充実

学校・家庭・地域の連携力の強化

- ◆ コミュニティ・スクールの仕組みを生かした「学力向上」の取組の強化
- ・ 学校運営協議会における、学力課題の共有や課題解決に向けた熟議の促進
 - ・ 学校・家庭・地域における学力に関する情報共有に基づく学習習慣の確立
 - ・ 地域人材の参加による学力課題の解決を意識したユニット型研修の促進
- ◆ 異校種間連携の充実による学習環境づくり
- ・ 中学校区における学力向上の取組に関する連携・協働
 - ・ 「学校・地域連携カリキュラム」見直し等による小中一貫教育の推進
 - ・ 授業力向上実践研究校、小中高連携英語教育推進校・連携校などによる研究の推進

